

2026 年 9 月入学

2027 年 4 月入学

龍谷大学

大学院入学試験要項

**Graduate School
For Entry In September 2026
For Entry In April 2027**

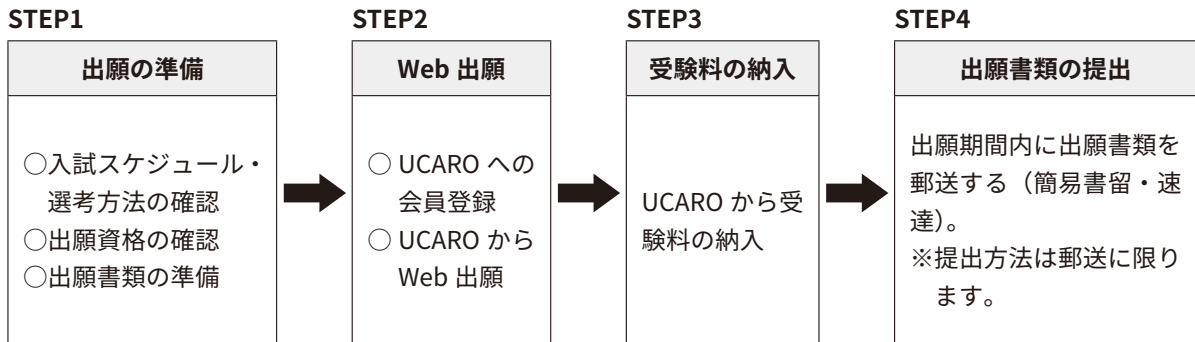
Ryukoku University

Admission Guide

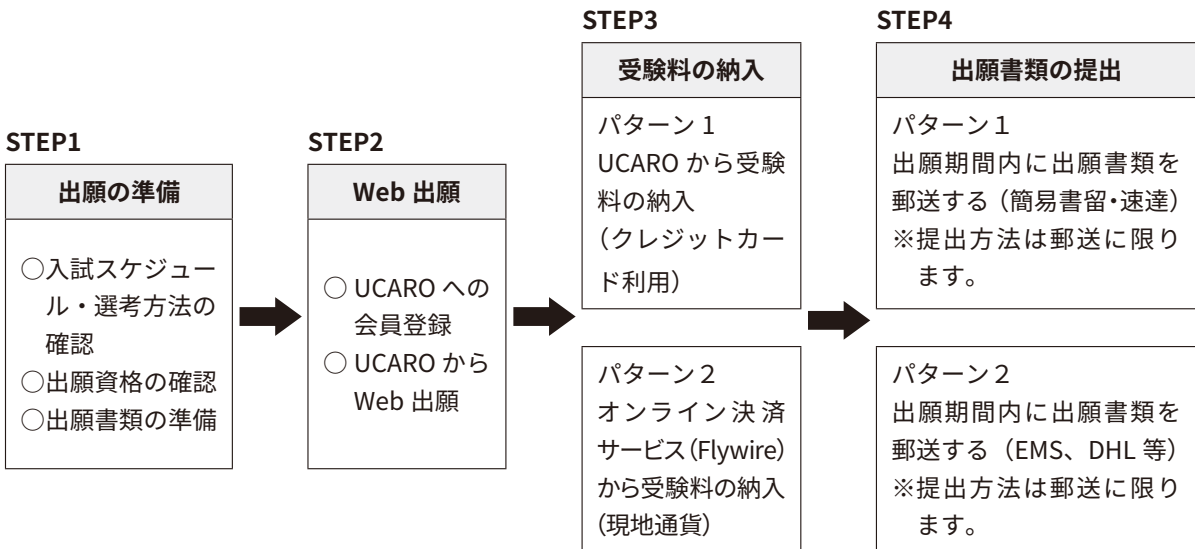
出 願 の 流 れ

○龍谷大学に出願するには受験ポータルサイトUCAROへの登録が必要となります。
 UCAROについては、本学Webサイトの入試情報にある「UCAROマニュアル」（日本語Ver. / 英語Ver.）をご参照ください。
 〈URL〉 <https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/>

日本国内居住者



日本国外居住者



※詳細は、本入学試験要項（9 ページ～78ページ）を確認してください。

○日本に住む、日本国籍を持たない避難民・難民のみなさんは、以下いずれかのプログラムから応募してください。プログラムへの応募期間は、本学への出願期間とは異なります。また、出願資格や出願書類が一部異なるため、よく確認してください。

教育パスウェイズ

<https://www.reedjapan.org/ja/jep>



UNHCR難民高等教育プログラム (RHEP)

<https://rhep-japanforunhcr.org/>



避難民・難民として出願する場合

STEP1

出願の準備
<ul style="list-style-type: none"> ○入試スケジュール・選考方法の確認 ○出願資格の確認 ○出願書類の準備

STEP2

プログラムへの応募
「教育パスウェイズ」または「UNHCR 難民高等教育プログラム (RHEP)」への応募

STEP3

プログラムでの選考
「教育パスウェイズ」または「UNHCR 難民高等教育プログラム (RHEP)」での選考

STEP4

プログラムでの推薦決定
「教育パスウェイズ」または「UNHCR 難民高等教育プログラム (RHEP)」から推薦する者が決定

STEP5

出願書類の提出
出願期間内に「教育パスウェイズ」または「UNHCR 難民高等教育プログラム (RHEP)」を通じて、本学に出願書類を提出

STEP6

UCARO 会員登録
UCARO への会員登録 ※ Web 出願、受験料の納入は不要

※UCARO会員登録後の流れは、それぞれの入学試験要項に記載のとおりです。

※避難民・難民として出願できる試験種別は以下のとおりです。詳細は、それぞれの入学試験要項で確認してください。

入学試験要項	試験種別			試験月	学部・研究科												
					文	心理	経済	経営	法	政策	国際	社会	理工	情報	環境	農	実践真宗
外国人留学生入学試験要項 (4月入学)	大学1年次入学 (正規留学生)	日本国内居住者	学科試験方式	11月 (前期日程)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大学院修士課程 (正規留学生)	日本国内居住者	学科試験方式	11月 (前期日程)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	○	○
	大学院博士後期課程 (正規留学生)	日本国内居住者	学科試験方式	2月 (後期日程)	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-
大学院入学試験要項 (4月入学)	修士課程	一般入試	学科試験方式	11月 (秋期試験)	-	-	-	-	-	-	○ GS除く	-	-	-	-	-	
			書類審査方式		-	-	-	-	-	-	○ GSのみ	-	-	-	-	-	
	博士後期課程	一般入試	学科試験方式	11月 (秋期試験)	-	-	-	-	-	-	○ GS除く	-	-	-	-	-	
			書類審査方式		-	-	-	-	-	-	○ GSのみ	-	-	-	-	-	
Application Guidelines April Enrollment Master's Degree Program in Economics	English-based Degree Program	Residents of Japan		November	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

環境…環境サステナビリティ学部
GS…グローバルスタディーズ専攻

目次

龍谷大学 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	1
募集人員	7
入試スケジュール	9
選考方法	13
出願資格の有無	25
外国人留学生について	25
出願資格・出願書類	
2026年9月入学	
先端理工学研究科	26
国際学研究科	27
2027年4月入学	
文学研究科	36
法学研究科	39
経済学研究科	42
経営学研究科	46
社会学研究科	48
先端理工学研究科	52
国際学研究科	55
実践真宗学研究科	64
政策学研究科	67
農学研究科	71
心理学研究科	74
共通事項	
Web出願	77
受験料・納入方法	77
出願書類のダウンロードについて	78
出願書類送付先	78
受験票の印刷	78
感染症による受験料返還について	78
合格発表	78
入学手続	79
自然災害による災害救助法適用地域居住の 被災者を対象とした特別措置	79
授業料等返還制度	79
注意事項	80
不正行為	81
学費等	82
大学院生を対象とする奨学金	83
長期履修制度について	85
お問い合わせ先一覧	87
国籍コード	88

龍谷大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○文学研究科

文学研究科では、建学の精神に基づき、各専攻領域に関わる文献資料・史料に依拠し、確固たる基礎学力を養成する。また本学の豊富な蔵書と、専攻ごとに設置された合同研究室を研究拠点として独創的かつ精緻な研究を継承発展させ、自立して研究活動を行うのに必要な高度な研究能力、又は高度の専門性を要する職業等に必要能力を培う。これらの学力と能力を基礎として、さらに進んで学術の振興と文化の発展に寄与することを目指している。

また、本学を含む京都地区の宗教系大学の大学院が構成する「京都・宗教系大学院連合」の履修を通じて単位互換を実施している。また修士課程・博士後期課程ともに社会人入試を実施し、広く社会的要請にも応えている。

<修士課程>

修士課程では、広い視野に立って豊かな学識を身に付け、各専攻の学術の基本を修得した上で、さらに進んで各専攻分野における基礎的な研究能力を高め、加えて積極的な学術研究への取り組みを通じて、より高度な専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とし、洞察力に富んだ人材を養成することを目的としている。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 専攻分野に関する基礎的な研究能力をもった人
- 積極的な学術研究に取り組むたいと考えている人
- 高度な専門性を活かした社会貢献を目指している人

<博士後期課程>

博士後期課程では、各専攻分野において、進取の気概をもって学術研究を推進し、研究者として自立した研究活動に従事することができ、加えて、より高度に専門的な学術業務に従事するのに必要な研究能力、及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目標とし、積極的に学術文化の向上と社会の発展に寄与する人材を養成する。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 研究者として自立した研究能力をもった人
- 高度な学術専門業務に従事しようと考えている人
- 積極的に学術文化の向上と社会発展に寄与することを目的としている人

○法学研究科

<修士課程>

修士課程では、広い視野に立った深い学識と専攻分野における研究能力を育むことを通じて、研究者及び高度の専門性を要する職業人に必要な能力を涵養するという目標に照らして、次のような人を求めている。

- 大学における4年間の学修によって獲得された一般的教養と専門的教養の基礎の上に、さらに深い学識を得て、研究者及び高度の専門性を有する職業人になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職業上の実践にその専門性を発揮したいと考える人
- 世界と地域において協働を育み、共生（ともいき）社会の発展のための理論構築や実践を進めたいと考える人

<博士後期課程>

博士後期課程では、専攻分野において自立して研究活動を遂行し、職務を実践することができる研究者及び高度な専門知識を有する専門職業人の養成をめざして、次のような人を求めている。

- 修士課程における学修により培われた深い学識と研究能力を基礎に、専攻分野において自立して研究活動を遂行できる研究者になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職務の実践においてその専門性をいかして、職務上の課題を発見し、問題を解決する能力を獲得したいと考える人
- 現代社会が抱える複雑な諸問題について、その課題を発見、分析、解決し、具体的な解決案を提示して、世界、地域の構成員と協働して、現実に問題を解決することができるようになりたいと考える人

○経済学研究科

<修士課程>

修士課程では、研究者に求められる世界に対する理解と理論構築や応用分析の能力を養い、あるいは高度な職業人に必要とされる高邁な理想と学問的知識に裏打ちされた実践能力を育てることを目指しており、次のような人を求めている。

- 世界と地域社会の平和と発展に貢献することを志し、受験資格を満たし、強い勉学意欲と、潜在力を持つ人
- 国際水準の研究あるいは高度な実務能力を持つエコノミストたらしめる人
- 公共的な活動（公的部門・営利部門あるいは非営利部門を問わない）においてリーダーを目指す人
- 活発で刺激的な学習環境をつくるため、経済学既習者以外にも門戸を開き、多様なバックグラウンドを持つ人を歓迎する

<博士後期課程>

博士後期課程では、国際水準の研究をおこなう研究者の養成を通じて、世界と地域社会の平和と発展に貢献することを目的とし、次のような人を求めている。

- 世界と地域社会の平和と発展に貢献する意思のある人
- 世界に対する深い理解を持つ人
- 理論的知識と応用分析の基礎的な能力を持つ人
- 国際水準の研究を実現する潜在力のある人

○経営学研究科

<修士課程>

修士課程では、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる専門職業人及び研究者を育成するため、次のような人を求めている。

- 修士課程修了後に博士後期課程に進学し、自立した研究者として経営学の研究を深めていくことをめざしている人
- 研究を進めていく上で必要な経営学に関する基礎的で全般的な知識を有している人
- 研究を進めていく上で必要な外国語の能力を有している人
- 修了後の進路として、大手企業の法人営業部門や人事部門を目指している人

<博士後期課程>

博士後期課程では、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる自立した研究者を育成するため、次のような人を求めている。

- 経営学の特定の領域に関しての深い専門的知識を有している人
- 研究を進めていく上で必要な外国語の高い能力を有している人
- 自ら研究テーマを設定し、論文として執筆していく能力を有している人

○社会学研究科

◇社会学専攻

<修士課程>

修士課程では、複雑で多様な現代社会の諸問題を分析できる社会的な学識と能力を有する専門社会調査士や職業ジャーナリストのような高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実社会に対応した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な現代社会の諸問題を、社会的視点から研究したいと考えている人
- 社会学理論と社会調査法についての基礎的な知識や能力を有する人
- 社会学理論や社会調査の知識や能力を実践的に活かせる職場への就職、また職業ジャーナリストを目指している人

<博士後期課程>

博士後期課程では、高度で創造的研究を行うことのできる自立した研究者を育成することを目的とし、社会学およびジャーナリズム論の研究領域で価値ありと認められる研究成果を生み出す能力を有する人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な現代社会の諸問題に関して、修士課程での研究を基盤に、より高度なレベルでの社会学的研究に取り組みたいと考えている人
- 社会学理論や社会調査法の理解力と分析能力を有する人
- 大学や研究機関等、高度な研究能力を必要とする職場への就職を目指している人

◇社会福祉学専攻

<修士課程>

修士課程では、現代社会における社会福祉学の専門性と実践性を兼ね備えた高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実の社会福祉問題に直結した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 複雑な社会福祉問題を、社会福祉学的視点から研究したいと考えている人
- 社会福祉学理論と社会福祉実践について基礎的な知識や能力を有する人
- 高度専門職業人として社会福祉学的知識や社会福祉実践についての能力を実践的に活かせる場への就職を目指している人

<博士後期課程>

博士後期課程では、社会福祉学の研究方法を身につけ、創造的で自立した研究者を育成することを目的とし、社会福祉問題の分析における高度の研究能力を有する人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な社会福祉問題に関して、修士課程での研究を基盤に、より高度なレベルでの社会福祉学的研究に取り組みたいと考えている人
- 社会福祉学理論や社会福祉実践についての理解力と分析能力を有する人
- 大学や研究機関等高度な研究能力を必要とする職場、あるいは専門職業人としての高度な実践能力を必要とする職場への就職を目指している人

○先端理工学研究科

<修士課程>

数理・情報科学コース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 数理・情報科学分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- 専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- 持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

知能情報メディアコース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 知能情報メディア分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- 専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- 持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

電子情報通信コース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 電子情報通信分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- 専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- 持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

機械工学・ロボティクスコース

修士課程では、機械工学・ロボティクスに関する専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 機械工学・ロボティクス分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- 専門分野のより深い知識の修得と研究に対し、明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- 持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

応用化学コース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 応用化学分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- 専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- 持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

環境科学コース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 環境科学分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- 専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- 持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

<博士後期課程>

数理・情報科学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して数理・情報科学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度な知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

知能情報メディアコース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して知能情報メディア分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

電子情報通信コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して電子情報通信分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

機械工学・ロボティクスコース

博士後期課程では、自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて、社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 機械工学・ロボティクス分野における専門領域および周辺領域の高度な知識を修得している人
- 自立して機械工学・ロボティクス分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 科学技術の発展に貢献できる研究者や世界的な活躍を目指している人

応用化学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して応用化学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

環境科学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して環境科学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

○国際学研究科

<修士課程>

国際文化学専攻

相互依存が一層著しく進む現在の世界が直面する諸課題に対して、文化という観点から批判的に研究を遂行し、その研究で得られた知見を国際社会のなかで専門的かつ実践的に発揮できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際的な視点に立脚し、各自の専門性を活かした職業を担うために、国際文化研究の領域において意欲的に研究を進めようとする人
- 日本、共生社会、言語文化、宗教文化、芸術・メディアなどに関するテーマを、国際的な視野に基づく学問の理論と方法論で研究することを旨とする人
- 国際社会で自らの専門性や実践能力を示そうと志す人

グローバルスタディーズ専攻

グローバル社会の複雑な諸問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、高い語学力や専門知識だけでなく、対話力、分析力・考察力、課題探求力といったグローバル人材に不可欠な資質能力を養い、将来、国際的な課題の解決や豊かな社会の創造に貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- グローバル化が急速に進展し、世界のさまざまな問題が一層複雑化するなかで、そのような諸課題の原因究明と解決方法の提案に向けて、意欲的に研究しようとする人
- 大学院研究科での研究を通じて、深い専門的知識、高い語学力や対話力、分析力や考察力といった課題探求力を培い、リーダーシップを発揮して国内外の社会において活躍したい人

言語コミュニケーション専攻

グローバル社会における言語コミュニケーションに関連する問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、相互に関連を深める国際情勢を複眼的な視点から総合的・大局的に分析し、問題解決に向けて高い英語力・対話力をもって積極的に行動できるリーダーを育成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- グローバル社会において、高い語学力・対話力をもってリーダーシップを発揮して活躍すると同時に、他者に対する理解力や寛容さあるいは柔軟性と批判的精神をもって、相互理解や多文化理解を積極的に推進したい人。
- 大学院研究科での研究を通じて、言語コミュニケーションに関わる専門的知識や技能を培い、将来、中学校・高等学校英語教員（専修免許）、通訳・翻訳者などの高度の専門的職業人、あるいは研究者として、国内外の社会に貢献したい人

<博士後期課程>

国際文化学専攻

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、国際文化学の発展に貢献できる人材、多文化の共生する社会の実現に向けて学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際的および学際的な視点に立脚するとともに、自らの専門的知識に基づいて、国際文化研究の領域における新たな知の地平を切り開こうとする人
- 大学院修士課程までの研究において、基礎的研究能力をすでに有していることを示せる人
- これまで十分解明されていない論点について、独自の学術的貢献を果たしたいという意欲を持つ人

グローバルスタディーズ専攻

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、グローバルな舞台においてリーダーシップを発揮できる人材、グローバル化する国際社会の抱える諸問題の解決に学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

国際学研究科修士課程グローバルスタディーズ専攻および言語コミュニケーション専攻の専門性を踏まえて、特に次のような人を求める。

- 大学院修士課程において関連分野の幅広い専門知識を修得するとともに、高度な学術的研究を行うために必要な自律的・主体的研究力を有している人
- 独自の視点から研究テーマを設定し、テーマの背景にある原因の究明と解決方法の提案に向けて意欲的に研究し、独自の学術的貢献を果たしたいという強い意欲を持つ人
- 大学院研究科での研究を通じて、高い語学力および深い専門的知識を培い、国内外の社会において研究者としてまた高度の専門的職業人として活躍したい人

○実践真宗学研究科

本研究科では、仏教（真宗）の教学・教義を基礎として、現代の宗教的かつ社会的な諸問題に対応するとともに、より高度な実践能力を持ちうる宗教的实践者を養成するため、次のような人を求めている。

- 現代の社会的要請をふまえ、仏教（真宗）を基盤とした宗教実践・社会実践に高い関心を持っている人
- 個人や社会が直面する諸問題について解決の方策を専門的に研究する意欲があり、宗教的实践者として現代社会に貢献することへ高い志と熱意を持つ人
- 地域社会や世界各地において、仏教（真宗）を基盤とした宗教実践や社会実践を行うエキスパートとなることを目指す人

○政策学研究科

<修士課程>

修士課程では、社会の持続可能な発展に貢献し、地域がかかえる具体的課題を解決することができる政策能力の修得を通じて、協働型社会を担う高度の専門的職業人や研究者を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 公共政策分野における高度の専門的職業人をめざす人、及び広く公共政策に関わる業務に携わりより専門性の高い能力を修得したいと考えている人
- 地方自治体やNPO、企業等で働きながら、政策学を研究したいと志望する人
- 職場でのキャリアアップをはかり、実務の現場で必要なコミュニケーションやファシリテーションのスキル修得に高い関心を持っている人
- 政策学に関連する基礎的な知識や多角的に分析できる思考力を有する人

<博士後期課程>

博士後期課程では、社会の持続可能な発展について深く考察し、人類的及び地域的課題の解決に必要な政策学の知識と構想力を身につけた研究者、及びより高度の専門的職業人を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 政策学についての優れた知識と、政策課題の分析や政策立案に関するより高度な専門的能力を修得したいと考えている人
- 参加や協働に求められるより高度な専門的能力を獲得し、課題解決志向の実践的な政策学を修得したいと考えている人
- 政策研究、政策立案実施に関する多面的な知識と卓越した能力を有する人

○農学研究科

<修士課程>

修士課程では、「食」や「農」に関わる高度かつ先端的な研究成果を正しく理解・修得し、それらを活用しながら現実的な課題の解決に取り組むことのできる人材を養成する。そのため、次のような関心・目標等を持った人を受け入れる。

- 「食」や「農」に関わる専門分野の基礎的な知識を修得している人
- 「食」や「農」に関する専門分野の研究に積極的に取り組む強い意志を有する人
- 「食」や「農」に関わる現実問題の解決に強い関心のある人

<博士後期課程>

博士後期課程では、「食」や「農」に関わる課題解決に役立つ新たな理論、知見、技法を創造・発見することのできる人材を養成する。そのため、次のような関心・目標等を持った人を受け入れる。

- 「食」や「農」に関わる専門的かつ高度な知識を修得している人
- 「食」や「農」に関する学問の発展に尽くす意欲を強く持つ人
- 「食」や「農」に関わる現実問題の解決及びそのための新知見・技法の開発に強い関心のある人

○心理学研究科

<修士課程>

- 多様な心理学的課題を抱えた現代社会において、人々の心の世界に深く関心を向け、その背景にある要因を探求したいという強い意欲のある人
- 心理的に困窮している人に対して、高度な心理学的支援法を身につけ、その苦悩や困難からの回復に寄与したいと考えている人
- 心理学的支援の基礎となるコミュニケーション・スキルを高め、人間社会のあらゆる場面における心理的課題の解決に寄与するために主体的に学び続けることができる人

<博士後期課程>

研究者養成コース

- 多様な心理学的課題を抱えた現代社会において、人々の心の世界に関心を深く向け、その背景にある要因をより多角的・包括的視点から探究し、研究したいという意欲のある人

高度専門職業人養成コース

- 臨床心理学領域分野における高度専門職業人として高度で包括的な臨床能力の獲得を目指し、より効果的な指導を後進に行い、今後の人材育成に積極的にかかわりたいという意欲のある人

両コース共通

- 心理的に困窮している人を支援する専門職が抱える問題や成長のための課題を解決できるような高度な実践的知識を修得し、より高度な心理学的支援法を身につけたいと考えている人

募集人員

◆2026年9月入学 募集人員

研究科	専攻	課程	9月入学入学定員	9月入学定員内の 社会人学生入学定員
先端理工学研究科	先端理工学専攻 数理・情報科学コース 知能情報メディアコース 電子情報通信コース 機械工学・ロボティクスコース 応用化学コース 環境科学コース	博士後期課程	若干名	—
		修士課程	若干名	若干名
国際学研究科	国際文化学専攻	修士課程	若干名	若干名
		博士後期課程	若干名	—
	グローバルスタディーズ専攻	修士課程	若干名	若干名
		博士後期課程	若干名	—
言語コミュニケーション専攻	修士課程	若干名	若干名	

◆2027年4月入学 募集人員

①修士課程

研究科	専攻・コース	修士課程入学定員	修士課程定員内の 社会人入学定員
文学研究科	真宗学専攻	20名	若干名
	仏教学専攻	20名	若干名
	哲学専攻	7名	若干名
	教育学専攻	7名	若干名
	日本史学専攻	7名	若干名
	東洋史学専攻	7名	若干名
	日本語日本文学専攻	7名	若干名
	英語英米文学専攻	7名	若干名
法学研究科	法学専攻 ^{※1}	25名	20名以内
経済学研究科	経済学専攻	30名	8名
経営学研究科	経営学専攻	30名	社会人入試は実施しません
社会学研究科	社会学専攻	10名	4名
	社会福祉学専攻	10名	4名
先端理工学研究科	先端理工学専攻 数理・情報科学コース 知能情報メディアコース 電子情報通信コース 機械工学・ロボティクスコース 応用化学コース 環境科学コース	20名	若干名
国際学研究科	グローバルスタディーズ専攻	4名	若干名
	言語コミュニケーション専攻	4名	若干名
	実践真宗学専攻	30名 ^{※3}	若干名
政策学研究科	政策学専攻	20名	15名以内
農学研究科	食農科学専攻	30名	若干名
心理学研究科 ^{※4}	臨床心理学専攻	20名	若干名

- ※1 (1)法学研究科の地域公共人材総合研究プログラムには定員があります。地域公共人材総合研究プログラムに所属を希望する場合は、入学後にコース所属の選考を行います。
(2)法学研究科の「税法をテーマとする修士論文希望者」が多数の場合には、入学後選抜を行うことがあります(税法をテーマとする修士論文の執筆を希望する者は「税法プログラム」に所属します)。
- ※2 9月入学としてうち1名の定員枠があります。
- ※3 実践真宗学研究科の募集人員の内訳は、自己推薦入試(秋期入試)15名・春期入試15名です。
- ※4 心理学研究科は「公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会」から第1種指定大学院として認定を受けています。公認心理師試験を受験するためには、大学で所定の科目を修得し卒業した上で、大学院で所定の科目を修得する必要があります。大学院のみでは公認心理師の受験資格を得ることはできません。公認心理師の受験資格については、国等が定める要件を確認してください。出願者の自身の責任において出願前に在籍大学での科目の修得状況を充分確認してください。所定の科目を修得していない場合は公認心理師試験を受験することができません。なお、心理学研究科の授業科目は夜間開講されません。

②博士後期課程

研究科	専攻・コース	博士後期課程入学定員			
文学研究科	真宗学専攻	5名			
	仏教学専攻	5名			
	哲学専攻	2名			
	教育学専攻	3名			
	日本史学専攻	2名			
	東洋史学専攻	2名			
	日本語日本文学専攻	2名			
英語英米文学専攻	2名				
法学研究科	法律学専攻	5名			
経済学研究科	経済学専攻	3名			
経営学研究科	経営学専攻	3名			
社会学研究科	社会学専攻	3名（社会人入学定員 若干名）			
	社会福祉学専攻	3名（社会人入学定員 若干名）			
先端理工学研究科	先端理工学専攻	数理・情報科学コース 知能情報メディアコース 電子情報通信コース 機械工学・ロボティクスコース 応用化学コース 環境科学コース	10名		
				国際文化学専攻	2名
				グローバルスタディーズ専攻	2名
				政策学専攻	3名（社会人入学定員 若干名）
				農学研究科	食農科学専攻
心理学研究科	臨床心理学専攻	6名			

入試スケジュール

◆2026年9月入学

①学科試験方式

研究科	試験種別		出願期間 締切日消印有効*	試験日・会場	合格発表	入学手続期間	
						入学手続Ⅰ	入学手続Ⅱ
国際学研究科 ※グローバルスタ ディーズ専攻を除く	修士課程	一般入試	2026年 5月4日(月・祝) ～5月13日(水)	2026年 6月13日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 6月27日(土)	2026年 6月27日(土) ～7月3日(金)	2026年 6月27日(土) ～8月20日(木)
		社会人入試					
博士後期課程							
先端理工学研究科	博士後期課程			2026年 6月13日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス			

②書類審査方式

研究科	試験種別		出願期間 締切日消印有効*	合格発表	入学手続期間
国際学研究科 ※グローバルスタ ディーズ専攻のみ	修士課程	一般入試	2026年 5月4日(月・祝) ～5月13日(水)	2026年 6月27日(土)	2026年 6月27日(土) ～7月3日(金)
		社会人入試			
	博士後期課程				

※国外居住者は締切日必着

◆2027年4月入学

修士課程

①学科試験方式

研究科	試験種別		出願期間 締切日消印有効*	試験日・ 会場	合格発表	入学手続期間	
						入学手続Ⅰ	入学手続Ⅱ
文学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 8月15日(土) ～8月21日(金)	2026年 9月12日(土) 龍谷大学 大宮キャンパス	2026年 9月19日(土)	2026年 9月19日(土) ～9月25日(金)	2026年 9月19日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 大宮キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
法学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 10月1日(木) ～10月8日(木)	2026年 11月8日(日) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土) ～11月20日(金)	2026年 11月14日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
経済学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 8月15日(土) ～8月21日(金)	2026年 9月12日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 9月19日(土)	2026年 9月19日(土) ～9月25日(金)	2026年 9月19日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
		帰国学生入試	※帰国学生は 締切日必着				
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
社会人入試							
経営学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 10月1日(木) ～10月8日(木)	2026年 11月8日(日) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土) ～11月20日(金)	2026年 11月14日(土)～ 2027年 2月25日(木)
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	

※法学研究科修士課程 アジア・アフリカ総合研究プログラム入試により合格した出願者は、大学院入学後、アジア・アフリカ総合研究プログラムに所属し、その専門領域で修士論文を作成することとなります。

※法学研究科修士課程 一般入試及び社会人入試に合格した出願者も、入学後アジア・アフリカ総合研究プログラムに進学し、学修することができます。

※国外居住者は締切日必着

① 学科試験方式

研究科	試験種別	出願期間 締切日消印有効*	試験日・会場	合格発表	入学手続期間		
					入学手続Ⅰ	入学手続Ⅱ	
社会学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 8月15日(土) ～8月21日(金)	2026年 9月12日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 9月19日(土)	2026年 9月19日(土) ～9月25日(金)	2026年 9月19日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
先端理工学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 8月15日(土) ～8月21日(金)	2026年 9月12日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス	2026年 9月19日(土)	2026年 9月19日(土) ～9月25日(金)	2026年 9月19日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
国際学研究科 ※国際文化学・言語 コミュニケーション 専攻のみ	秋期試験	一般入試	2026年 10月1日(木) ～10月8日(木)	2026年 11月8日(日) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土) ～11月20日(金)	2026年 11月14日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
実践真宗学研究科	秋期試験	自己推薦入試	2026年 9月8日(火) ～9月18日(金)	2026年 10月17日(土) 龍谷大学 大宮キャンパス	2026年 10月24日(土)	2026年 10月24日(土) ～10月29日(木)	2026年 10月24日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月21日(日) 龍谷大学 大宮キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月21日(日) 龍谷大学 大宮キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
政策学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 10月1日(木) ～10月8日(木)	2026年 11月8日(日) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土) ～11月20日(金)	2026年 11月14日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
農学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 8月15日(土) ～8月21日(金)	2026年 9月12日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス	2026年 9月19日(土)	2026年 9月19日(土) ～9月25日(金)	2026年 9月19日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
心理学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 8月15日(土) ～8月21日(金)	2026年 9月12日(土) 龍谷大学 大宮キャンパス	2026年 9月19日(土)	2026年 9月19日(土) ～9月25日(金)	2026年 9月19日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試					
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 大宮キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					

② 書類審査方式

研究科	試験種別	出願期間 締切日消印有効*	合格発表	入学手続期間		
				入学手続Ⅰ	入学手続Ⅱ	
国際学研究科 ※グローバルスタ ディーズ専攻のみ	秋期試験	一般入試	2026年 9月24日(木) ～9月30日(水)	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試			2026年 11月20日(金) ※国外居住者 は11月27 日(金)まで	
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月8日(金)	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試			※国外居住者は3月5日(金)まで	

※国外居住者は締切日必着

博士後期課程

① 学科試験方式

研究科	試験種別		出願期間 締切日消印有効*	試験日・会場	合格発表	入学手続期間	
						入学手続Ⅰ	入学手続Ⅱ
文学研究科	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月8日(金)	2027年 2月22日(月) 龍谷大学 大宮キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
法学研究科			2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス			
経済学研究科							
経営学研究科							
政策学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 10月1日(木) ～10月8日(木)	2026年 11月8日(日) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土) ～11月20日(金)	2026年 11月14日(土)～ 2027年 2月25日(木)
		社会人入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス		2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
国際学研究科 ※国際文化学専攻のみ	秋期試験	一般入試	2026年 10月1日(木) ～10月8日(木)	2026年 11月8日(日) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土) ～11月20日(金)	2026年 11月14日(土)～ 2027年 2月25日(木)
社会学研究科	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
		社会人入試					
		一般入試					
先端理工学研究科		一般入試					
農学研究科	秋期試験	一般入試	2026年 8月15日(土) ～8月21日(金)	2026年 9月12日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス	2026年 9月19日(土)	2026年 9月19日(土) ～9月25日(金)	2026年 9月19日(土)～ 2027年 2月25日(木)
	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月15日(金)	2027年 2月20日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	
心理学研究科	春期試験	一般入試	2027年 1月2日(土) ～1月8日(金)	2027年 2月22日(月) 龍谷大学 大宮キャンパス	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水)	

※政策学研究科博士後期課程（一般入試・社会人入試）に出願される方は、必ず出願締切日の1ヵ月前迄に政策学部教務課（TEL.075-645-2285）にお問い合わせください。

② 書類審査方式

研究科	試験種別		出願期間 締切日消印有効*	合格発表	入学手続期間	
					入学手続Ⅰ	入学手続Ⅱ
国際学研究科 ※グローバルスタ ディーズ専攻のみ	秋期試験	一般入試	2026年9月24日(木) ～9月30日(水)	2026年 11月14日(土)	2026年 11月14日(土) ～11月20日(金) ※国外居住者 は11月27日 (金)まで	2026年 11月14日(土)～ 2027年 2月25日(木)
	春期試験	一般入試	2027年1月2日(土) ～1月8日(金)	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月3日(水) ※国外居住者は3月5日(金)まで	

※国外居住者は締切日必着

選考方法

◆2026年9月入学

①学科試験方式

研究科		試験時間・試験科目	
国際学研究科	修士課程 言語コミュニケーション 専攻	13:40~14:00	14:00~(30分程度)
		説明・書類記入	口述試験
	修士課程 国際文化学 専攻	13:40~14:00	14:00~(30分程度)
		説明・書類記入	口述試験 出願書類などを対象とします。
博士後期 課程			
先端理工学研究科	博士後期 課程	9:40~10:00	10:00~
		説明・書類記入	修士論文あるいはそれに相当する学術論文ならびに今後の研究計画に関して、専門分野の外国語も含めた内容に関する口述試験

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定	口述試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
------	---

②書類審査方式

合否判定	出願書類の総合評価により合否を判定します。
------	-----------------------

◆2027年4月入学

①学科試験方式

<文学研究科>

試験種別	試験時間・試験科目			
修士課程 一般入試	9:20~10:20 外国語筆答試験 英語、ドイツ語、フランス語、日本語、中国語から1科目選択〈ただし母語を除く〉 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ≪英語英米文学専攻≫英語に限ります。 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可	10:50~12:30 専門科目筆答試験 各専攻ごとにそれぞれの専門領域から出題（専攻により下記の語学等を含む。） ≪正宗学専攻≫仏教漢文 ≪仏教学専攻≫仏教漢文 ≪教育学専攻≫志望専攻領域別（教育学領域・教育心理学領域）の出題となります。【「試験科目シート」に志望専攻領域を記入し提出してください。】 ≪日本史学専攻≫古典漢文 ≪東洋史学専攻≫外国語史料「古典漢文2題」または「古典漢文・英語」のいずれかを試験当日選択してください。 ★試験当日の科目変更不可 ★仏教学専攻・日本史学専攻は漢和辞典1冊のみ持ち込み可（ただし、電子辞書は不可）	13:50~ 口述試験 (各専攻ごと)	
修士課程 社会人入試	9:20~10:20 外国語筆答試験 英語、ドイツ語、フランス語、古典漢文、日本語、中国語から1科目選択〈ただし母語を除く〉 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ≪哲学専攻≫ 古典漢文以外を選択し ≪教育学専攻≫ 外を選択し ≪英語英米文学専攻≫ てください。 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可	10:50~12:30 専門科目筆答試験あるいは論文試験 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ≪正宗学専攻≫論文試験に限ります。 ≪教育学専攻≫志望専攻領域別（教育学領域・教育心理学領域）の出題となります。【「試験科目選択シート」に志望専攻領域を記入し提出してください。】 ≪日本史学専攻≫論文試験に限ります。 ★試験当日の科目変更不可 ★仏教学専攻は漢和辞典1冊のみ持ち込み可（ただし、電子辞書は不可）		
博士後期 課程 教育学 専攻 以外 専攻	8:40~ 9:00 書類 記入	9:00~10:30 外国語筆答試験 第1群：英語、ドイツ語、フランス語、日本語、中国語から1科目選択〈ただし母語を除く〉 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ≪英語英米文学専攻≫英語に限ります。 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可	10:50~12:20 外国語筆答試験 (第2群①：英語、ドイツ語、フランス語) (第2群②：サンスクリット語、パーリ語、チベット語、仏教漢文) (第2群③：アラビア語、ペルシア語、現代トルコ語) (第2群④：古典漢文) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ≪正宗学専攻≫仏教漢文に限ります。 ≪仏教学専攻≫第1群で選択した科目を除き、第2群①②から1科目選択〈ただし母語を除く〉 ≪哲学専攻≫第1群で選択した科目を除き、第2群①から1科目選択〈ただし母語を除く〉 ≪日本史学専攻・日本語日本文学専攻≫ 第1群で選択した科目を除き、第2群①〈ただし母語を除く〉④1科目選択 ≪東洋史学専攻≫第1群で選択した科目を除き、第2①③〈ただし母語を除く〉④から1科目選択 ≪英語英米文学専攻≫第2群①のドイツ語またはフランス語から1科目選択〈ただし母語を除く〉 ★試験当日の科目変更不可 ★第2群の受験の際は、語学に関する辞書1冊持ち込み可（ただし電子辞書は不可）	13:15~ 修士論文を主とした口述試験および各専攻ごとに 関連する文献読解
博士後期 課程 教育学 専攻		9:00~10:30 外国語筆答試験※ 英語、ドイツ語、フランス語、日本語、中国語から1科目選択〈ただし母語を除く〉 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可	10:50~12:20 専門科目筆答試験 教育学、教育心理学から1科目選択 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可	13:15~ 専門科目口述試験 修士論文あるいはそれに相当する 学術論文ならびに今後の研究 計画に関する口述試験

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

※外国語筆答試験免除の出願（社会人への特別措置）—**教育学専攻のみ対象**—

出願時において、大学卒業後10年以上経過している者は、既に発表している研究実績（出願する専攻にかかわる相当数の論文、あるいは著書）を添えて、外国語科目筆答試験免除の出願をすることができます。免除を希望する場合は「試験科目選択シート」に記入してください。審査の結果、外国語科目筆答試験の免除が認められた者には、試験日前日までに通知します。

なお、**外国語科目筆答試験が免除されない場合もありますので、「試験科目選択シート」には選択する外国語科目を記入し、提出してください。**

合否判定	学科試験・口述試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
------	--

<法学研究科>

試験種別	試験時間・試験科目	
修士課程 一般入試	10:30~12:10	13:20~15:00
	筆答試験(2科目選択) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 法哲学、法史学(日本)、憲法、行政法、国際法、刑法、民法、商法(保険・海商法を除く)、労働法、社会保障法、刑事訴訟法、刑事学、民事訴訟法、政治学、国際関係論、外国語(英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択)から2科目選択 ★試験当日の科目変更不可 ★外国語を選択する場合は、一般的な外国語辞書持ち込み可(ただし、電子辞書や専門用語辞書の持ち込み不可) ★法律科目受験者は「六法」の持ち込み可(ただし、判例つきは不可) ★口述試験は行いません	
修士課程 一般入試 (税法をテーマとする修士論文の執筆を希望する者)	10:30~12:10	13:20~
	税法筆答試験 ★「六法」(ただし、判例つきは不可)および「税務六法」(ただし、判例や通達つきは不可)の持ち込み可 ★「税法プログラム」に所属します。	
修士課程 アジア・アフリカ総合研究プログラム 入試	10:30~12:10	13:20~
	筆答試験(1科目選択) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 政治学、国際関係論、憲法、行政法、国際法、外国語(英語、ドイツ語、フランス語)から1科目選択 ★試験当日の科目変更不可 ★外国語を選択する場合は、一般的な外国語辞書持ち込み可(ただし、電子辞書や専門用語辞書の持ち込み不可) ★法律科目受験者は「六法」の持ち込み可(ただし、判例つきは不可)	
修士課程 社会人入試 (研究論文を提出する場合)	10:15~ 10:30 説明	10:30~
	研究論文は400字詰原稿用紙30枚以上の論文、あるいは、それに相当するもの(例えば、雑誌論文等)とします。 ★税法をテーマとする修士論文の執筆を希望する場合は、税法に関する論文にかぎる(税法をテーマとする修士論文の執筆を希望する場合は、「税法プログラム」に所属します)。	
修士課程 社会人入試 (研究論文を提出しない場合)	10:30~12:10	13:20~
	筆答試験(1科目選択) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 法哲学、法史学(日本)、憲法、行政法、国際法、刑法、民法、商法(保険・海商法を除く)、労働法、社会保障法、刑事訴訟法、刑事学、民事訴訟法、税法、政治学、国際関係論から1科目選択 ★試験当日の科目変更不可 ★法律科目受験者は「六法」の持ち込み可(ただし、判例つきは不可) 税法受験者は「税務六法」の持ち込みも可(ただし、判例や通達つきは不可) ★税法をテーマとする修士論文の執筆を希望する場合は税法を選択すること(税法をテーマとする修士論文の執筆を希望する場合は、「税法プログラム」に所属します)	
博士後期課程	10:30~12:10	13:20~
	外国語筆答試験 英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★一般的な外国語辞書の持ち込み可 ただし、電子辞書や専門用語辞書の持ち込み不可	
		審査論文や研究計画書等に基づく口述試験

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定	修士課程	一般	筆答試験および出願書類などを総合して、合否を判定します。
		一般(税法)	筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
		アジア・アフリカ総合研究プログラム	筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
		社会人(研究論文を提出しない場合)	
	社会人(研究論文を提出する場合)	研究論文、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。	
博士後期課程	筆答試験、口述試験、出願書類(論文)などを総合して、合否を判定します。 ①出願資格が1～3の者 修士論文またはそれに準ずるものの審査 ②出願資格が4～5の者 志望する専攻分野に関連する論文の審査		

※1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

<経済学研究科>

試験種別	試験時間・試験科目		
修士課程	12:40～13:00	13:00～	
	説明・書類記入	口述試験	
博士後期課程	9:00～9:15	9:15～10:45	11:00～
	説明・書類記入	外国語筆答試験 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語から 1科目選択(ただし母語を除く) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書持ち込み可(ただし、各外国語の経済用語辞書、電子辞書は不可)	専門科目口述試験 修士論文あるいはそれに 相当する学術論文ならびに今後の研究計画 に関する口述試験

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定	修士課程	口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
	博士後期課程	筆答試験、口述試験、出願書類を総合して、合否を判定します。

※1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

＜経営学研究科＞

試験種別	試験時間・試験科目			
		9:40～10:00	10:00～12:00	13:00～14:30
修士課程	書類記入	専門科目筆答試験 [会計学専攻希望者] ※税理士試験免除申請希望者を含む会計学2問を解答すること。 [会計学専攻を希望しない者] 経営学3問から2問を選択し解答すること。	外国語筆答試験 英語 ★辞書（英和）持ち込み可（ただし電子辞書、専門用語辞書は不可）	面接試験
博士後期課程	書類記入	9:15～10:45 外国語筆答試験 英語、または中国語のどちらかから1科目選択（ただし母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書持ち込み可（ただし電子辞書、専門用語辞書は不可）		11:00～ 専門科目口述試験 修士論文を対象とします。

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定	筆答試験、面接・口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
------	---

<社会学研究科>

試験種別	試験時間・試験科目			
修士課程 一般入試	9:00～ 9:20 書類記入	9:20～10:50	11:15～12:45	13:45～
		外国語筆答試験 英語、日本語から1科目選択（ただし母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★辞書持ち込み可（ただし電子辞書、専門用語辞書は不可）	専門科目筆答試験 ≪社会学専攻≫ ・社会学コース 社会学概論（社会学史を含む） ・ジャーナリズムコース マス・コミュニケーション論（マス・メディア史を含む） ≪社会福祉学専攻≫社会福祉原論（社会福祉史を含む）	口述試験
博士後期 課程 一般入試	書類記入	9:20～10:50	11:15～12:45	13:45～
		外国語筆答試験 英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択（ただし母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書持ち込み可（ただし電子辞書、専門用語辞書は不可）	専門科目筆答試験 各専攻に関する小論文	専門科目口述試験 修士論文を主とした口述試験および各専攻に関連する文献読解
修士課程 社会人入試	10:40～ 11:00 書類記入	11:15～12:45		13:45～
		専門科目筆答試験 論文試験（各専攻・コースの専門領域から出題）		口述試験
博士後期 課程 社会人入試		11:15～12:45		13:45～
		専門科目筆答試験（各専攻に関する小論文）		専門科目口述試験（各専攻に関する口述試験）

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定	筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
------	--

<先端理工学研究科>

試験種別	試験時間・試験科目		
修士課程 一般入試	9:45~10:00	—	10:00~11:30
	説明・書類記入	外国語 英語 ※外部英語資格試験のスコアを換算	専門科目 ◎数理・情報科学コース 次の3分野より出願時に選択した（出願票で選択した）1分野を解答 A. 数理解析 B. 応用数理 C. 情報科学 ◎知能情報メディアコース 6問中3問選択 I. アルゴリズムとプログラミング 1問 II. ネットワーク 1問 III. 数学（微分積分・線形代数）1問 IV. 知能情報メディア（情報システム）1問 V. 知能情報メディア（メディア処理）1問 VI. 知能情報メディア（機械学習）1問 ◎電子情報通信コース 次の3分野より出願時に選択した（出願票で選択した）1分野を解答 A. 電子工学分野 1. 基礎科目（*電気回路、**数学）から出題 2. 電磁気学、電子物性・材料、電子工学から出題 B. 情報工学分野 1. 基礎科目（*電気回路、**数学）から出題 2. 情報理論、プログラミング、デジタル論理から出題 C. 通信工学分野 1. 基礎科目（*電気回路、**数学）から出題 2. 伝送線路理論、高周波回路、通信工学から出題 *電気回路（直流と交流） **数学（線形代数、ベクトル解析、微分積分、微分方程式） ◎機械工学・ロボティクスコース 次の5問より3問を選択 材料力学、機械力学、熱力学、流体力学、制御工学 ◎応用化学コース 6問中3問選択 物理化学系（2問）、無機化学系（2問）、有機化学系（2問） ◎環境科学コース 環境工学分野、生態学分野から出題 設問の中から3問選択
修士課程 社会人入試	11:10~11:25		11:25~
	説明・書類記入		口述試問
博士後期 課程	12:45~13:00		13:00~
	説明・書類記入		修士論文あるいはそれに相当する学術論文ならびに今後の研究計画に関して、専門分野の外国語も含めた内容に関する口述試験

各コースごと
面接

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合 否 判 定	修士課程	一般	外国語（50点）・専門科目（150点）・面接（200点）の総合点で、合否を判定します。
		社会人	口述試問（100点）で合否を判定します。
	博士後期課程		口述試験と出願書類を総合して、合否を判定します。

※1科目でも欠席した場合は、全科目を欠席扱いとし、結果は通知しません。

<国際学研究科>

試験種別	試験時間・試験科目	
	修士課程 言語コミュニケーション専攻	13:40~14:00
修士課程 国際文化学専攻	13:40~14:00	14:00~(30分程度) 口述試験 出願書類などを主としたもの
	説明・書類記入	14:00~(30分程度) 専門科目口述試験
博士後期課程	説明・書類記入	14:00~(30分程度) 専門科目口述試験

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定	国際文化学専攻	口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
	言語コミュニケーション専攻	口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。

※1科目でも欠席した場合は、欠席扱いとし、結果は通知しません。

<実践真宗学研究科>

試験種別	試験時間・試験科目		
自己推薦入試	9:30~10:30	10:50~12:30	13:30~14:30
	専門科目筆答試験 ★辞書等の持ち込み不可	グループ討論	小論文
一般入試	9:30~10:30	11:00~12:30	13:30~
	9:10~9:30 外国語筆答試験 英語 ★辞書等の持ち込み不可	専門科目筆答試験 ★辞書等の持ち込み不可	口述試験
社会人入試	9:30~10:30	11:00~12:30	13:30~
	書類記入 外国語筆答試験 英語、古典漢文から1科目選択 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可	論文試験 ★辞書等の持ち込み不可	口述試験

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合 否 判 定	自己推薦	筆答試験、グループ討論、小論文、出願書類などを総合して、合否を判定します。
	一般	筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
	社会人	

※1科目でも欠席した場合は、欠席扱いとし、結果は通知しません。

<政策学研究科>

試験種別		試験時間・試験科目		
11 月 試 験 ／ 2 月 試 験	修 士 課 程 一 般 入 試	10:45～ 11:00 説明・ 書類記入	11:00～12:00	13:20～
	修 士 課 程 社 会 人 入 試 (研究論文を提出 しない場合)		小論文(日本語) (政策に関するテーマについて、日本語で論理的に書く 能力をはかります。) ★持ち込み不可	口述試験
	修 士 課 程 社 会 人 入 試 (研究論文を提出 する場合)		—	10:30～
	博 士 後 期 課 程		研究論文は400字詰原稿用紙30枚以上の論文、あるいは、それに相当するもの(例えば、雑誌論文、新聞投稿論文等)とします。	口述試験 (提出された論文をもとに実施します)
			10:30～	審査論文を主とした口述試験

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合 否 判 定	修 士 課 程	一般	筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定 します。
		社会人(研究論文を提出しない場合)	
		社会人(研究論文を提出する場合)	
	博 士 後 期 課 程	口述試験、出願書類(研究論文)などを総合して、合否を判 定します。 一般入試の出願者は、修士論文またはそれに相当するものを 審査します。 社会人入試の出願者は、修士論文またはそれに相当するもの、 もしくは志望する専攻分野に関連する研究論文を審査し ます。	

※1科目でも欠席した場合は、欠席扱いとし、結果は通知しません。

<農学研究科>

試験種別	試験時間・試験科目		
修士課程 一般入試	10:00～ 10:20	10:20～11:50 専門科目筆答試験 (外国語を含む) ★一般的な英語辞書の持ち込み可(ただし、電 子辞書や専門用語辞書の持ち込み不可)	13:00～ 口述試験
		説明・ 書類記入	10:20～ 口述試験
博士後期 課程		10:20～ 口述試験 これまでの研究内容に関するプレゼンテーションを行い、それに対する質疑応答を行います。	

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合 否 判 定	修士課程	一般	筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
		社会人	口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
	博士後期課程	口述試験と出願書類を総合して、合否を判定します。	

※1科目でも欠席した場合は、欠席扱いとし、結果は通知しません。

<心理学研究科>

試験種別		試験時間・試験科目		
修士課程 一般入試	9:00 ～ 9:20 書類記入	9:20～10:20	10:50～12:30	13:50～
		外国語筆答試験 英語、日本語から1科目選択（ただし母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	専門科目筆答試験	
修士課程 社会人入試	9:20 ～ 9:40 書類記入	9:20～10:20	10:50～12:30	口述試験
		外国語筆答試験 英語、日本語から1科目選択（ただし母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	専門科目筆答試験	
博士後期 課程	8:40 ～ 9:00 書類記入	9:00～10:30	10:50～12:20	13:15～
		外国語筆答試験※ 英語、日本語から1科目選択（ただし母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	専門科目筆答試験	口述試験

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

※外国語筆答試験免除の願（社会人への特別措置）

出願時において、大学卒業後7年以上経過している者は、既に発表している研究実績（出願する専攻にかかわる相当数の論文、あるいは著書）を添えて、外国語科目筆答試験免除の出願をすることができます。免除を希望する場合は「試験科目選択シート」に記入してください。審査の結果、外国語科目筆答試験の免除が認められた者には、試験日前日までに通知します。

なお、外国語科目筆答試験が免除されない場合もありますので、「試験科目選択シート」には選択する外国語科目を記入し、提出してください。

合否判定	学科試験・口述試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
------	--

②書類審査方式

合否判定	出願書類の総合評価により合否を判定します。
------	-----------------------

出願資格の有無

1. 出願資格有無に関する確認および問い合わせは、下記の各研究科の窓口となる各学部教務課まで電話等で行ってください（実践真宗学研究科・心理学研究科の窓口は文学部・心理学部教務課（大宮キャンパス）です）。

※月・水曜日～金曜日 9：00～11：45 12：45～17：00
火曜日 10：45～11：45 12：45～17：00

【問い合わせ先】

本要項87ページの〈各研究科へのお問い合わせ〉をご確認ください。

2. 出願資格確認のために各学部教務課から書類の提出を求められた場合は、指示された書類を、出願開始日の2週間前までに簡易書留・速達で各学部教務課宛に郵送してください（ただし、社会学研究科博士後期課程については50ページを、先端理工学研究科については52ページまたは54ページの「出願資格の確認」欄を、政策学研究科博士後期課程については69ページの「出願資格」欄を参照）。

提出された書類により、出願資格有無の判定を行い、判定結果を通知します。

3. 日本語、英語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。その他の言語の場合は、大使館・領事館、もしくは出身学校や翻訳会社で日本語、英語のいずれかの言語に翻訳し、原文と訳文の内容が相違ないという翻訳証明書（公印付のもの）と合わせて提出してください。翻訳証明書の様式は任意です。

4. 中国の大学または大学院を卒業（修了）した者・卒業（修了）見込みの者
中国の大学または大学院を卒業（修了）した場合は、その卒業（修了）証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」（<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>）へ登録してダウンロードした「教育部学歴証書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。

中国の大学または大学院を卒業（修了）見込みの場合は、その卒業（修了）見込証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線検証報告」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。

※「教育部学歴証書電子注冊備案表」または「教育部学籍在線検証報告」は有効期限が試験日よりも後であるものに限りません。

5. 「公証書」は不可

外国人留学生について

外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に以下の出願書類の提出が必要です。また、国外居住者の場合は受験許可証等の発行に時間を要しますので、必ず出願開始日1ヵ月前までに入試部（075-645-7887 平日9：00～17：00）までお問い合わせください。

○入学願書（本学所定用紙）（本学Webサイトよりダウンロードしてください）

○日本語能力認定書（本学所定用紙）（国際学研究科グローバルスタディーズ専攻以外）

経営学研究科修士課程・国際学研究科言語コミュニケーション専攻修士課程出願者は日本語能力試験（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）N1の合格を示した「日本語能力認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）を提出してください（9月入学：2023年4月1日以降、4月入学：2024年4月1日以降に受験したものに限る）。ただし、日本の4年制大学卒業者（9月入学：2026年9月卒業見込み、4月入学：2027年3月卒業見込みの者を含む）は不要です。

経営学研究科修士課程、国際学研究科グローバルスタディーズ専攻・言語コミュニケーション専攻修士課程以外の出願者で、以下の①・②に該当する場合、本学所定用紙の認定書は不要です。

①「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）N1の受験者は、「日本語能力試験」N1の合否を示した「日本語能力認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）を提出してください（9月入学：2023年4月1日以降、4月入学：2024年4月1日以降に受験したものに限る）。

②日本の4年制大学卒業者（9月入学：2026年9月卒業見込み、4月入学：2027年3月卒業見込みの者を含む）

○住民票の写し

日本国内居住者のみ提出してください。「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。

※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

在留期間満了日が試験実施日よりも前である場合は、在留期間更新手続中であることを確認できる「在留カード（両面コピー）」等を、住民票とあわせて提出してください。

在留期間更新後、新しい在留カード番号が記載された住民票の写しを以下まで提出してください。

【提出先】

〒612-8577

京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学入試部

2026年9月入学

先端理工学研究科 博士後期課程

◆出願資格

先端理工学研究科博士後期課程
次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2026年9月までに修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者※

※2. については出願資格審査を必要とします。出願資格審査に必要な関係書類については余裕をもって、必ず事前に先端理工学部教務課にお問い合わせください。

先端理工学部教務課 TEL：077-543-7730

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

先端理工学研究科博士後期課程
1. 調査書（本学所定用紙） 調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
2. 志望理由書（本学所定用紙） ※指導希望教員（第一・第二希望）を記入してください。 指導希望教員に事前にコンタクトをとることが望ましい。
3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書 ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書 ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
5. 次の①～③のいずれか ①修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は、修士論文草稿） ②これまでに作成した学術的なレポート1点（文字数制限なし） ③上記①または②の要旨（和文1,600字程度および英文800words程度）
6. 今後の研究計画書（和文1,600字程度）
7. 出願票（本学所定用紙）

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生在本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

※出願書類について不明な点がある場合は、先端理工学部教務課にお問い合わせください。（先端理工学部教務課 TEL：077-543-7730）

国際学研究科 修士課程・博士後期課程

◆出願資格

国際学研究科修士課程 一般入試（学科試験方式・書類審査方式）

次の1から5のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2026年9月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2026年9月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

国際学研究科修士課程 社会人入試（学科試験方式・書類審査方式）

次の1から6のいずれかに該当するとともに、本学大学院研究科入学時までに1年以上の職歴（家事従事等を含む）を有する者

1. 大学を卒業した者および2026年9月までに卒業見込みの者
2. 学校法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
4. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2026年9月までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣の指定した者
6. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

国際学研究科博士後期課程（学科試験方式・書類審査方式）

次の1～3のいずれかに該当する者

1. 修士の学位を得た者および2026年9月までに修士の学位を得る見込みの者
2. 外国において所定の学校教育を原則として12年以上の課程を修了し、かつ大学機関で修士の学位を得た者
3. 修士の学位を得た者と同等以上の学力があると本大学院研究科において認められた者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

国際学研究科修士課程 一般入試（学科試験方式）

<国際文化学専攻>

1. 推薦書 1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
2. 出願票（本学所定用紙）
3. 研究計画書（本学所定用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 学部の卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中の物）またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点（コピー可・字数制限なし）
なお、新規に作成していただいても構いません。
※提出する論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（様式自由、800字程度）を併せて提出してください。
7. 語学力を示す外部試験の証明書
英語、フランス語、中国語、コリア語、日本語から、母語以外の1言語の語学力を示す以下の外部試験の証明書（1つ）を提出してください。
（外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限ります。）（コピー不可）

[英語]

以下のいずれかの語学力を示す証明書を提出してください。

TOEIC® L&R 600点

TOEFL-iBT® 69点

国際連合公用語英語検定試験（B級）

実用英語技能検定準1級

IELTS™ 5.5

※TOEFL® のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※TOEFL iBT® テストはTest Dateスコアに限ります。（「My Best™ scores」は利用できません）。

※TOEIC® L&R IPテストは含みません。

※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

[フランス語]

フランス語検定準1級合格証明書

[中国語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

HSK（漢語水平公試）4級HSK成績報告書もしくは成績記載内容証明書

日本中国語検定3級合格証明書

[コリア語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

ハングル能力検定準2級 成績証明書

韓国語能力検定（TOPIK）3級成績照会もしくは成績証明書

[日本語]

「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）のN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

<言語コミュニケーション専攻>

1. 推薦書 1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。
3. 研究計画書（日本語および英語各1点）（本学所定の日本語および英語対応用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 学部の日本語または英語による卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な日本語または英語によるレポートを1点（コピー可・字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEIC® L&R 730点、TOEFL® (iBT) 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません）。
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。
※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

<グローバルスタディーズ専攻>

1. 推薦書 2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。
3. 英文研究計画書（本学所定の英語対応用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 学部の英語による卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを1点（コピー可・字数制限なし）。
なお、新規に作成していただいても構いません。
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEIC® L&R 730点、TOEFL® (iBT) 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません）。
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。
※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

＜国際文化学専攻＞

1. 推薦書 1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
2. 出願票（本学所定用紙）
3. 研究計画書（本学所定用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 出願締切日から起算して10年以内に作成した学術的な論文またはレポート（4000字以上）を1点（コピー可）。なお、新規に作成していただいても構いません。
※提出する論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（様式自由、800字程度）を併せて提出してください。
7. 自己申告書（本学所定用紙）
8. 語学力を示す外部試験の証明書
英語、フランス語、中国語、コリア語、日本語から、母語以外の1言語の語学力を示す以下の外部試験の証明書（1つ）を提出してください。
（外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限ります。）（コピー不可）

[英語]

以下のいずれかの語学力を示す証明書を提出してください。

TOEIC® L&R 600点

TOEFL-iBT® 69点

国際連合公用語英語検定試験（B級）

実用英語技能検定準1級

IELTS™ 5.5

※TOEFL® のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※TOEFL iBT® テストはTest Dateスコアに限ります。（「My Best™ scores」は利用できません）。

※TOEIC® L&R IPテストは含みません。

※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

[フランス語]

フランス語検定準1級合格証明書

[中国語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

HSK（漢語水平公試）4級HSK成績報告書もしくは成績記載内容証明書

日本中国語検定3級合格証明書

[コリア語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

ハングル能力検定準2級 成績証明書

韓国語能力検定（TOPIK）3級成績照会もしくは成績証明書

[日本語]

「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）のN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

<言語コミュニケーション専攻>

1. 推薦書 1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要
3. 研究計画書（日本語および英語各1点）（本学所定の日本語および英語対応用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 出願締切日から起算して10年以内に作成した日本語または英語による学術的な論文またはレポートを1点（コピー可・字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEIC® L&R 730点、TOEFL® iBT 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません。）
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。
※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。
8. 自己申告書（本学所定の英語対応用紙）

＜グローバルスタディーズ専攻＞

1. 推薦書 2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要
3. 英文研究計画書（本学所定の英語対応用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 出願締切日から起算して10年以内に作成した英語による学術的な論文・レポートを1点（コピー可・字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEIC® L&R 730点、TOEFL® iBT 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません。）
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。
※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。
8. 自己申告書（本学所定の英語対応用紙）

<国際文化学専攻（学科試験方式）>

1. 推薦書 2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学研究科出身者は不要
2. 出願票（本学所定用紙）
※本学国際学研究科出身者は不要
3. 研究計画書（本学所定用紙）（4000字程度、英語の場合は2000words程度）
4. 学部の卒業証明書および大学院修士課程の卒業／修了（見込）証明書
ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
5. 学部の成績証明書および大学院修士課程の成績証明書
ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと
※現在、本学国際文化学研究科修士課程に在学中の方は、学部の成績証明書は提出不要です。
6. 修士論文 1通（コピー可）（未完成の場合は、現在作成中の物）
また、修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物（コピー可）
7. 修士論文要旨（修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物の要旨）（日本語の修士論文の場合は、英語による要旨を400words程度、日本語以外の修士論文の場合は、日本語の要旨を800字程度）
8. 語学力を示す外部試験の証明書
英語、フランス語、中国語、コリア語、日本語から、母語以外の1言語の語学力を示す以下の外部試験の証明書（1つ）を提出してください。
（外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限ります。）（コピー不可）

[英語]

以下のいずれかの語学力を示す証明書を提出してください。

TOEIC® L&R 600点

TOEFL-iBT® 69点

国際連合公用語英語検定試験（B級）

実用英語技能検定準1級

IELTS™ 5.5

※TOEFL® のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※TOEFL iBT® テストはTest Dateスコアに限ります。（「My Best™ scores」は利用できません）。

※TOEIC® L&R IPテストは含みません。

※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

[フランス語]

フランス語検定準1級合格証明書

[中国語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

HSK（漢語水平公試）4級HSK成績報告書もしくは成績記載内容証明書

日本中国語検定3級合格証明書

[コリア語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

ハングル能力検定準2級 成績証明書

韓国語能力検定（TOPIK）3級成績照会もしくは成績証明書

[日本語]

「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）のN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

＜グローバルスタディーズ専攻（書類審査方式）＞

1. 推薦書 2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学研究科出身者は不要
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学研究科出身者は不要
3. 英文研究計画書（本学所定の英語対応用紙）
4. 学部の卒業証明書および大学院修士課程の卒業／修了（見込）証明書
ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
5. 学部の成績証明書および大学院修士課程の成績証明書
ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
6. 大学院修士課程において作成した英語による修士論文（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを1点（コピー可・文字数制限なし）
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEFL® iBT 100点、IELTS™ 6.5のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限ります（第一言語が英語の者、修了（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者＜本学国際学研究科修士課程グローバルスタディーズ専攻出身者及び言語コミュニケーション専攻出身者を含む＞は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求められることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません。）
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。
※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

※外国人留学生在が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

2027年4月入学

文学研究科 修士課程

◆出願資格

文学研究科修士課程 一般入試

次の1から5のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

文学研究科修士課程 社会人入試

次の1から5のいずれかに該当するとともに、本大学院研究科入学時までに3年以上の職歴（家事従事者等を含む）を有する者で、2027年4月1日現在25歳以上の者

1. 大学を卒業した者または2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

文学研究科修士課程 一般入試

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
※本学文学部の卒業生および卒業見込みの者は提出不要
2. 学部の卒業（見込）証明書
3. 学部の成績証明書
4. 試験科目選択シート（本学所定用紙）
※教育学専攻には、教育学領域と教育心理学領域があります。
志望する領域を「試験科目選択シート」に記入し提出してください。

文学研究科修士課程 社会人入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
※出願先専攻選択理由を含む
2. 自己申告書（本学所定用紙）
3. 推薦書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
4. 研究計画書（本学所定用紙）
5. 学部の卒業（見込）証明書
6. 学部の成績証明書
7. 試験科目選択シート（本学所定用紙）
※教育学専攻には、教育学領域と教育心理学領域があります。
志望する領域を「試験科目選択シート」に記入し提出してください。

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

文学研究科 博士後期課程

◆出願資格

文学研究科博士後期課程

次の1または2のどちらかに該当する者

1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者
 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者
- ※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

文学研究科博士後期課程

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
※本学文学研究科修士課程の修了者および修了見込みの者は提出不要
2. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
3. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
4. 修士論文（コピー）
5. 修士論文要旨 **3,200字以内（欧文の場合800 words 以内）**
6. 今後の研究計画書（本学所定用紙・様式1） **800字以内（欧文の場合200 words 以内）**
※本学文学研究科修士課程修了者も提出してください。
7. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3.に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4.に定める書類が別途必要となります。

法学研究科 修士課程

◆出願資格

法学研究科修士課程	一般入試 アジア・アフリカ総合研究プログラム入試
次の1から6のいずれかに該当する者	
1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者	
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者	
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者	
4. 文部科学大臣の指定した者	
5. 短期大学、高等専門学校、専修学校もしくは各種学校の卒業者または外国大学日本分校等の修了者などで、22歳に達し、本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者	
6. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者	

※アジア・アフリカ総合研究プログラム入試により合格した出願者は、大学院入学後、アジア・アフリカ総合研究プログラムに所属し、その専門領域で修士論文を作成することになります。

※一般入試に合格した出願者も、入学後アジア・アフリカ総合研究プログラムを選択し、学修することができます。

法学研究科修士課程	社会人入試
次の1から4のいずれかに該当する者	
1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者で1年以上の就業経験がある者、または、本大学院研究科において、これと同等の社会的経験があると認められた者	
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、1年以上職業に従事している者または1年以上の就業経験がある者	
3. 短期大学、高等専門学校、専修学校もしくは各種学校の卒業者または外国大学日本分校等の修了者などで、原則として卒業後3年以上の就業経験、またはこれと同等の社会的経験がある者で、本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者	
4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で1年以上の就業経験、またはこれと同等の社会的経験がある者	
※上記の就業経験には、原則として学部在籍中の就業経験は含まれません。	
ただし、主として夜間に授業を行うコースに在籍中の就業経験は含まれます。	

※社会人入試に合格した出願者も、入学後アジア・アフリカ総合研究プログラムを選択し、学修することができます。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

法学研究科修士課程 一般入試 アジア・アフリカ総合研究プログラム入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 卒業（見込）証明書または修士課程・博士後期課程の修了（見込）証明書
3. 上記に関わる成績証明書
4. 試験科目選択シート（本学所定用紙）
5. 研究計画書（本学所定用紙・様式1）（アジア・アフリカ総合研究プログラム入試への出願者のみ）
これまでの研究内容、同プログラム進学後に予定している研究対象とその選定理由及び研究計画を記入すること。
6. 出願票（本学所定用紙）

法学研究科修士課程 社会人入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 自己申告書（本学所定用紙）
3. 研究計画書（本学所定用紙・様式1）
4. 研究論文（研究論文を提出する場合）
5. 出願票（本学所定用紙）
6. 卒業（見込）証明書または修士課程・博士後期課程の修了（見込）証明書
7. 上記に関わる成績証明書
8. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3.に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4.に定める書類が別途必要となります。

法学研究科 博士後期課程

◆出願資格

法学研究科博士後期課程
次のいずれかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者 2. 外国において修士の学位に相当する学位を得た者、および2027年3月までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者 3. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者 4. 法務博士の学位を得た者、および2027年3月末日までに法務博士の学位を得る見込みの者 5. 4以外の専門職大学院学位を得た者、および2027年3月末日までに専門職大学院学位を得る見込みの者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。
出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

法学研究科博士後期課程
1. 志望理由書（本学所定用紙） 2. 学部の卒業証明書と修士課程または専門職大学院課程（法務博士課程含む）の修了（見込）証明書 ※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。 3. 学部の成績証明書と修士課程または専門職大学院課程（法務博士課程含む）の成績証明書 ※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。 4. 論文（コピー） ①上記の出願資格が1～3の者 修士論文および同論文の概要〈要旨〉（様式は任意、日本語2,000字程度）と研究計画書（様式は任意）各2部を提出してください。なお修士論文の他に、審査対象として補充論文をあわせて提出することができます。 ※本学大学院修士課程修了者も提出してください。 ※税法をテーマとする博士論文の執筆を希望する場合は、税法に関する論文に限ります。 ②上記の出願資格が4～5の者 志望する専攻分野に関する論文（A4判400字詰原稿用紙30枚以上、またはワープロ書きの場合はA4判用紙横書きで12,000字以上）および同論文の概要〈要旨〉（様式は任意、日本語2,000字程度）と研究計画書（様式は任意）各2部を提出してください。 5. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴りまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生在本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

経済学研究科 修士課程

◆出願資格

経済学研究科修士課程 一般入試

次の1から5のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

ただし、外国人留学生（本学経済学部在学学生もしくは卒業生を除く）は出願できません

経済学研究科修士課程 社会人入試

次の1または2のどちらかに該当する者

1. 次の(1)から(5)のいずれかに該当するとともに、本大学院研究科入学時まで2年以上の就業経験を有する者
 - (1) 大学を卒業または2027年3月までに卒業見込みの者
 - (2) 学校教育法104条の第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
 - (4) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
2. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

ただし、外国人留学生（本学経済学部在学学生もしくは卒業生を除く）は出願できません

経済学研究科修士課程 帰国学生入試

外国の学校教育を受け、次の1から2のいずれかに該当する者。ただし、2025年3月31日以前に帰国した者は除く。

1. 外国において学士に相当する学位を取得したか、あるいは2027年3月までに取得する見込みの者、またそれらに準ずる者
2. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

経済学研究科修士課程 一般入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 研究計画書（様式自由 4,000字程度）
3. 出願票（本学所定用紙）
「出願するコース・プログラム名」欄に次の中から記入すること。
 - 経済学専攻 経済学総合研究プログラム
 - 経済学専攻 アジア・アフリカ総合研究プログラム
4. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修了した（修了見込の）課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
5. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修了した課程の成績証明書も提出のこと）
6. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。

経済学研究科修士課程 社会人入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 研究計画書（様式自由 4,000字程度）
3. 出願票（本学所定用紙）
「出願するコース・プログラム名」欄に次の中から記入すること。
 - 経済学専攻 経済学総合研究プログラム
 - 経済学専攻 アジア・アフリカ総合研究プログラム
4. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修了した（修了見込の）課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
5. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修了した課程の成績証明書も提出のこと）
6. 自己申告書（本学所定用紙）（自己の業績報告・就業経験報告）
7. 推薦書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
※所属長の許可を必要とする者のみ提出してください。

経済学研究科修士課程 帰国学生入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 研究計画書（様式自由 4,000字程度）
3. 出願票（本学所定用紙）
「出願するコース・プログラム名」欄に次の中から記入すること。
 - 経済学専攻 経済学総合研究プログラム
 - 経済学専攻 アジア・アフリカ総合研究プログラム
4. 推薦書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
5. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修了した（修了見込の）課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
6. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修了した課程の成績証明書も提出のこと）

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

経済学研究科 博士後期課程

◆出願資格

経済学研究科博士後期課程

次の1または2のどちらかに該当する者

1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者
2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

経済学研究科博士後期課程

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
2. 志望理由書（本学所定用紙）
3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書
ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書
ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
5. 修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は修士論文草稿）あるいはそれに相当する学術論文
6. 修士論文要旨（400字詰原稿用紙 5～10枚、欧文の場合800 words 程度）
7. 今後の研究計画書（400字詰原稿用紙 3枚程度、欧文の場合200 words 程度）
※本学大学院修士課程修了者も提出してください。
8. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※修士論文（コピー）・研究論文などの提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

経営学研究科 修士課程

◆出願資格

経営学研究科修士課程 一般入試
以下のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者 2. 大学評価・学位授与機構により学士の学位を得た者および得る見込みの者 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 4. 大学院において個別の入学資格審査により認められた者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。
出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

経営学研究科修士課程 一般入試
1. 調査書（本学所定用紙） 厳封したものを提出してください。 調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。 2. 志望理由書（本学所定用紙） 3. 研究計画書（本学所定用紙・様式2） 4. 出願票（本学所定用紙） ○税理士試験免除申請希望の有無及び「会計学」専攻希望の有無を記入すること。 5. 学部の卒業（見込）証明書（ただし修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 6. 学部の成績証明書（ただし修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと）

※外国人留学生が本要項により出願する場合は研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

経営学研究科 博士後期課程

◆出願資格

経営学研究科博士後期課程
次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。
出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

経営学研究科博士後期課程
1. 調査書（本学所定用紙） 厳封したものを提出してください。 調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。 2. 志望理由書（本学所定用紙） 3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書 ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。 4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書 ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。 5. 修士論文（コピー） 6. 修士論文要旨（400字詰原稿用紙 5～10枚、欧文の場合800 words 程度） 7. 今後の研究計画書（400字詰原稿用紙 3枚程度、欧文の場合200 words 程度） ※本学大学院修士課程修了者も提出してください。 8. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生が本要項により出願する場合は研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

社会学研究科 修士課程

◆出願資格

社会学研究科修士課程 一般入試
次の1から5のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者 4. 文部科学大臣の指定した者 5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
社会学研究科修士課程 社会人入試
次の1から5のいずれかに該当するとともに、入学時まで3年以上の社会人経験を有すると本大学院研究科が認められた者 1. 大学を卒業した者または2027年3月までに卒業見込みの者 2. 外国において学校教育16年の課程を修了した者（修了後3年以上経過していること） 3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（修了後3年以上経過していること） 4. 文部科学大臣の指定した者（資格認定後3年以上経過していること） 5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

社会学研究科修士課程 一般入試

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
2. 志望理由書（本学所定用紙）
※HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
3. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
4. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと）
5. 試験科目選択シート（本学所定用紙）
6. 研究計画書（A4判 横書き 2,000字程度）
※本学所定用紙を使用する場合は、HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
7. 出願票（本学所定用紙）
社会学専攻に出願する場合は、「出願するコース・プログラム名」欄に次の中から記入すること。
 - 社会学コース
 - ジャーナリズムコース

社会学研究科修士課程 社会人入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
※社会人経験から得た研究動機を含むこと
※HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
2. 推薦書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
3. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
4. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと）
5. 研究計画書（A4判 横書き 2,000字程度）
※本学所定用紙を使用する場合は、HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
6. 出願票（本学所定用紙）
社会学専攻に出願する場合は、「出願するコース・プログラム名」欄に次の中から記入すること。
 - 社会学コース
 - ジャーナリズムコース

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

社会学研究科 博士後期課程

◆出願資格

社会学研究科博士後期課程 一般入試
次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者
社会学研究科博士後期課程 社会人入試
次の1から4のいずれかに該当する者 1. 博士後期課程入学時までに学士に相当する課程修了後3年以上の就業経験がある者であり、且つ専攻に関連する修士の学位を有している者 2. 博士後期課程入学時までに学士に相当する課程修了後3年以上の就業経験がある者であり、且つ外国において専攻に関連する修士の学位に相当する学位を授与された者 3. 現在大学教育機関・研究機関等に所属し、入学時までに3年以上の教育・研究職の経験を有する者（非常勤講師も含む） 4. 上記1～3と同等以上の学力があると本大学院研究科が認められた者

※社会人入試にて出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前迄に社会学部教務課にお問い合わせください。 社会学部教務課 E-Mail : shakai@ad.ryukoku.ac.jp TEL : 075-585-7672

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

社会学研究科博士後期課程 一般入試
1. 調査書（本学所定用紙） 厳封したものを提出してください。 調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
2. 志望理由書（本学所定用紙） ※HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書 ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書 ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
5. 修士論文（コピー）
6. 修士論文要旨（3,200字程度、欧文の場合800 words 程度）
7. 研究計画書（2,000字程度、欧文の場合500 words 程度） ※本学大学院修士課程修了者も提出してください。 ※本学所定用紙を使用する場合は、HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
8. 出願票（本学所定用紙）
9. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

■出願資格1. 2. の者

1. 志望理由書（本学所定用紙）
※HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
2. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書
ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
3. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書
ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
4. 修士論文要旨（**3,200字程度**、欧文の場合**800 words 程度**）
5. 研究計画書（**4,000字程度**、欧文の場合**1,000 words 程度**）
※本学所定用紙を使用する場合は、HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
6. 出願票（本学所定用紙）

■出願資格3. 4. の者

1. 志望理由書（本学所定用紙）
※HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
2. 修士論文又は代表論文の要旨（**3,200字程度**、欧文の場合**800 words 程度**）
3. 研究業績3点（著書、学術論文、学会発表、研究報告書など**3点**）
4. 研究計画書（**4,000字程度**、欧文の場合**1,000 words 程度**）
※本学所定用紙を使用する場合は、HPを確認し、指導希望教員名を記入してください。
5. 出願票（本学所定用紙）

なお、出願資格3. に該当する者は、**大学教育機関・研究機関等による教育・研究職の経歴**を明示できる証明書を必ず添付してください。（該当する大学教育機関・研究機関所定用紙）

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

先端理工学研究科 修士課程

◆出願資格

先端理工学研究科修士課程 一般入試
次の1から5のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者 4. 文部科学大臣の指定した者 5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 ※5. については出願資格審査を必要とします。出願資格審査に必要な関係書類については余裕をもって、必ず事前に先端理工学部教務課（TEL：077-543-7730）にお問い合わせください。
先端理工学研究科修士課程 社会人入試
次の1から5のいずれかに該当するとともに、入学時までには2年以上の就業経験を有すると本学大学院研究科が認めた者 1. 大学を卒業した者または2027年3月までに卒業見込みの者 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者 4. 文部科学大臣の指定した者 5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 ※5. については、出願資格審査を必要とする。 ※在職中の方は、所属企業と十分相談のうえ、出願すること。

◆出願資格の確認

○秋期試験
出願資格5については、資格審査関係書類を7月24日（金）（※締切日必着）までに郵送してください。
○春期試験
出願資格5については、資格審査関係書類を11月17日（火）（※締切日必着）までに郵送してください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

先端理工学研究科修士課程 一般入試

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
※本学先端理工学部当該課程（学科）出身者は不要
2. 志望理由書（本学所定用紙）
※指導希望教員（第一・第二希望）を記入してください。
指導希望教員に事前にコンタクトをとることが望ましい。
3. 出願票（本学所定用紙）
4. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
5. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと）
6. 英語外部試験のスコアを証明する書類
 - 1) 以下のいずれかを提出してください。
 - ・TOEIC® L&R公開テストの公式認定書（原本）
 - ・TOEIC® L&R IPテストの個人宛スコアレポート（原本）
 - ・TOEIC® L&R IPテスト（オンライン）のテスト結果（PDFファイル）を紙出力したもの
 - ・TOEFL® iBTテストのScore Report（原本）
 - ・TOEFL® iBTテストHome EditionのScore Report（原本）
 - ・TOEFL® ITPテスト（ペーパー版）のScore Report（原本）
 - ・TOEFL® ITPテスト（デジタル版）のScore Report（原本）
 - 2) 有効期限
英語外部試験の受験日が、入試実施の前年度4月1日以降のものに限る。

先端理工学研究科修士課程 社会人入試

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
※本学先端理工学部当該学科出身者は不要
2. 志望理由書（本学所定用紙）
※指導希望教員（第一・第二希望）を記入してください。
指導希望教員に事前にコンタクトをとることが望ましい。
3. 出願票（本学所定用紙）
4. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
5. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと）

※外国人留学生在が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

先端理工学研究科 博士後期課程

◆出願資格

先端理工学研究科博士後期課程
次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認めた者※

※2. については出願資格審査を必要とします。出願資格審査に必要な関係書類については余裕をもって、必ず事前に先端理工学部教務課にお問い合わせください。

先端理工学部教務課 TEL：077-543-7730

◆出願資格の確認

先端理工学研究科博士後期課程
○出願資格2については、資格審査関係書類を出願締切日の2ヵ月前（11月17日(火) ※締切日必着）までに郵送してください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

先端理工学研究科博士後期課程
1. 調査書（本学所定用紙） 厳封したものを提出してください。 調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。 ※本学理工学研究科修士課程の当該専攻出身者は不要
2. 志望理由書（本学所定用紙） ※指導希望教員（第一・第二希望）を記入してください。 指導希望教員に事前にコンタクトをとることが望ましい。
3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書 ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書 ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
5. 次の①～③のいずれか ①修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は、修士論文草稿） ②これまでに作成した学術的なレポート1点（文字数制限なし） ③上記①または②の要旨（和文1,600字程度および英文800words程度）
6. 今後の研究計画書（和文1,600字程度）
7. 出願票（本学所定用紙）

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

※出願書類について不明な点がある場合は、先端理工学部教務課にお問い合わせください。（先端理工学部教務課 TEL：077-543-7730）

国際学研究科 修士課程

◆出願資格

国際学研究科修士課程 一般入試（学科試験方式・書類審査方式）

次の1から5のいずれかに該当する者
または、避難民・難民であり、外国の国籍を有し、かつ日本国内に居住する者で、次の1から5のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

国際学研究科修士課程 社会人入試（学科試験方式・書類審査方式）

次の1から6のいずれかに該当するとともに、本学大学院研究科入学時まで1年以上の職歴（家事従事等を含む）を有する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 学校法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
4. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣の指定した者
6. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

国際学研究科修士課程 一般入試（学科試験方式）

<国際文化専攻>

1. 推薦書 1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
2. 出願票（本学所定用紙）
3. 研究計画書（本学所定用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 学部の卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中の物）またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点（コピー可・字数制限なし）
なお、新規に作成していただいても構いません。
※提出する論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（様式自由、800字程度）を併せて提出してください。

7. 語学力を示す外部試験の証明書

英語、フランス語、中国語、韓国語、日本語から、母語以外の1言語の語学力を示す以下の外部試験の証明書（1つ）を提出してください。

（外部試験の試験日が、2024年4月1日以降のものに限ります。）（コピー不可）

[英語]

以下のいずれかの語学力を示す証明書を提出してください。

TOEIC® L&R 600点

TOEFL-iBT® 69点

国際連合公用語英語検定試験（B級）

実用英語技能検定準1級

IELTS™ 5.5

※TOEFL® のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※TOEFL iBT® テストはTest Dateスコアに限ります。（「My Best™ scores」は利用できません）。

※TOEIC® L&R IPテストは含みません。

※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

[フランス語]

フランス語検定準1級合格証明書

[中国語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

HSK（漢語水平公試）4級HSK成績報告書もしくは成績記載内容証明書

日本中国語検定3級合格証明書

[韓国語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

ハングル能力検定準2級 成績証明書

韓国語能力検定（TOPIK）3級成績照会もしくは成績証明書

[日本語]

「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）のN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

<言語コミュニケーション専攻>

1. 推薦書 1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。
3. 研究計画書（日本語および英語各1点）（本学所定の日本語および英語対応用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 学部の日本語または英語による卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを1点（コピー可・字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEIC® L&R 730点、TOEFL® (iBT) 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。
※外部試験の試験日が、2024年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません）。

国際学研究科修士課程 一般入試（書類審査方式）

<グローバルスタディーズ専攻>

1. 推薦書 2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。
3. 英文研究計画書（本学所定の英語対応用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 学部の英語による卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを1点（コピー可・字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEIC® L&R 730点、TOEFL® (iBT) 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。
※外部試験の試験日が、2024年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません）。

＜国際文化学専攻＞

1. 推薦書 1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
2. 出願票（本学所定用紙）
3. 研究計画書（本学所定用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 出願締切日から起算して10年以内に作成した学術的な論文またはレポート（4000字以上）を1点（コピー可）。なお、新規に作成していただいても構いません。
※提出する論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（様式自由、800字程度）を併せて提出してください。
7. 自己申告書（本学所定用紙）
8. 語学力を示す外部試験の証明書
英語、フランス語、中国語、韓国語、日本語から、母語以外の1言語の語学力を示す以下の外部試験の証明書（1つ）を提出してください。
（外部試験の試験日が、2024年4月1日以降のものに限ります。）（コピー不可）

[英語]

以下のいずれかの語学力を示す証明書を提出してください。

TOEIC® L&R 600点

TOEFL-iBT® 69点

国際連合公用語英語検定試験（B級）

実用英語技能検定準1級

IELTS™ 5.5

※TOEFL® のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※TOEFL iBT® テストはTest Dateスコアに限ります。（「My Best™ scores」は利用できません）。

※TOEIC® L&R IPテストは含みません。

※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

[フランス語]

フランス語検定準1級合格証明書

[中国語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

HSK（漢語水平公試）4級HSK成績報告書もしくは成績記載内容証明書

日本中国語検定3級合格証明書

[韓国語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

ハングル能力検定準2級 成績証明書

韓国語能力検定（TOPIK）3級成績照会もしくは成績証明書

[日本語]

「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）のN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

<言語コミュニケーション専攻>

1. 推薦書 1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要
3. 研究計画書（日本語および英語各1点）（本学所定の日本語および英語対応用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 出願締切日から起算して10年以内に作成した日本語または英語による学術的な論文・レポートを1点（コピー可・字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEIC® L&R 730点、TOEFL® iBT 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。
※外部試験の試験日が、2024年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません）。
8. 自己申告書（本学所定の英語対応用紙）

国際学研究科修士課程 社会人入試（書類審査方式）

<グローバルスタディーズ専攻>

1. 推薦書 2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要
3. 英文研究計画書（本学所定の英語対応用紙）
※指導希望教員（第一、第二希望）を記入してください。
なお、可能な限り事前に当該指導希望教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨する。
4. 学部の卒業（見込）証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出のこと
5. 学部の成績証明書
ただし、修士・博士後期修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと
6. 出願締切日から起算して10年以内に作成した英語による学術的な論文・レポートを1点（コピー可・字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEIC® L&R 730点、またはTOEFL® iBT 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。
※外部試験の試験日が、2024年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません）。
8. 自己申告書（本学所定の英語対応用紙）

※外国人留学生在本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※避難民・難民として出願する場合は、国際学研究科が定める出願書類、25ページ「外国人留學生について」に定める出願書類に加え、以下の出願書類の提出が必要です。なお、成績証明書などを入手できない場合、それに代わる書類（学歴に関する陳述書など）の提出を認める場合があります。「教育パスウェイズ」または「UNHCR難民高等教育プログラム（RHEP）」を通じて龍谷大学入試部に相談してください。

- ・Application Sheet（出願シート） ※本学所定用紙
写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。卒業するまで使用するのに相応しい服装とします（制服以外が望ましい）。
※入学後、学生証の写真差し替える場合は、有料となります。
※入学手続の際に写真の差し替えが可能です。
大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。

- ・難民認定証明書等のコピー ※避難民・難民として出願する場合のみ
「難民認定証明書」等のコピーを提出してください。
- ・在留カードのコピー ※避難民・難民として出願する場合のみ
在留カードの表と裏の面をA4サイズの用紙にコピーしたものを提出してください。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

国際学研究科 博士後期課程

◆出願資格

国際学研究科博士後期課程
次の1～3のいずれかに該当する者 または、避難民・難民であり、外国の国籍を有し、かつ日本国内に居住する者で、次の1から3のいずれかに該当する者
1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込の者
2. 外国において所定の学校教育を原則として12年以上の課程を修了し、かつ大学機関で修士の学位を得た者
3. 修士の学位を得た者と同等以上の学力があると本大学院研究科において認められた者

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。
出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

国際学研究科博士後期課程
<国際文化学専攻（学科試験方式）>
1. 推薦書 2名分（様式自由） 本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。 ※本学国際学研究科出身者は不要
2. 出願票（本学所定用紙） ※本学国際学研究科出身者は不要
3. 研究計画書（本学所定用紙）（4000字程度、英語の場合は2000words程度）
4. 学部の卒業証明書および大学院修士課程の卒業／修了（見込）証明書 ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
5. 学部の成績証明書および大学院修士課程の成績証明書 ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと ※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
6. 修士論文 1通（コピー可）（未完成の場合は、現在作成中の物） また、修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物（コピー可）
7. 修士論文要旨（修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物の要旨）（日本語の修士論文の場合は、英語による要旨を400words程度、日本語以外の修士論文の場合は、日本語の要旨を800字程度）
8. 語学力を示す外部試験の証明書 英語、フランス語、中国語、コリア語、日本語から、母語以外の1言語の語学力を示す以下の外部試験の証明書（1つ）を提出してください。 （外部試験の試験日が、2024年4月1日以降のものに限ります。）（コピー不可）

[英語]

以下のいずれかの語学力を示す証明書を提出してください。

TOEIC® L&R 600点

TOEFL-iBT® 69点

国際連合公用語英語検定試験（B級）

実用英語技能検定準1級

IELTS™ 5.5

※TOEFL® のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※TOEFL iBT® テストはTest Dateスコアに限ります。（「My Best™ scores」は利用できません）。

※TOEIC® L&R IPテストは含みません。

※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

[フランス語]

フランス語検定準1級合格証明書

[中国語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

HSK（漢語水平公試）4級HSK成績報告書もしくは成績記載内容証明書

日本中国語検定3級合格証明書

[コリア語]

以下のいずれかの証明書を提出してください。

ハングル能力検定準2級 成績証明書

韓国語能力検定（TOPIK）3級成績照会もしくは成績証明書

[日本語]

「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）のN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

<グローバルスタディーズ専攻（書類審査方式）>

1. 推薦書 2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、および予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。
※本学国際学研究科出身者は不要
2. 出願票（本学所定の英語対応用紙）
※本学国際学研究科出身者は不要
3. 英文研究計画書（本学所定の英語対応用紙）
4. 学部の卒業証明書および大学院修士課程の卒業／修了（見込）証明書
ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
5. 学部の成績証明書および大学院修士課程の成績証明書
ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
6. 大学院修士課程において作成した英語による修士論文（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを1点（コピー可・文字数制限なし）
7. 英語力を示す外部試験のスコア
TOEFL®iBT 100点、IELTS™ 6.5のいずれかを満たすスコアを提出してください。
※外部試験の試験日が、2024年4月1日以降のものに限ります（第一言語が英語の者、修了（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者<本学国際学研究科修士課程グローバルスタディーズ専攻及び言語コミュニケーション専攻出身者を含む>は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。）。
※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。
※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります。（「MyBest™ scores」は利用できません）。
※TOEIC® L&R IPテストは含みません。
※TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

※外国人留学生在が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※避難民・難民として出願する場合は、国際学研究科が定める出願書類、25ページ「外国人留学生について」に定める出願書類に加え、以下の出願書類の提出が必要です。なお、成績証明書などを入手できない場合、それに代わる書類（学歴に関する陳述書など）の提出を認める場合があります。「教育パスウェイズ」または「UNHCR難民高等教育プログラム（RHEP）」を通じて龍谷大学入試部に相談してください。

- ・Application Sheet（出願シート） ※本学所定用紙
写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。卒業するまで使用するのに相応しい服装とします（制服以外が望ましい）。
※入学後、学生証の写真差し替える場合は、有料となります。
※入学手続の際に写真の差し替えが可能です。
大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。
- ・難民認定証明書等のコピー ※避難民・難民として出願する場合のみ
「難民認定証明書」等のコピーを提出してください。
- ・在留カードのコピー ※避難民・難民として出願する場合のみ
在留カードの表と裏の面をA4サイズの用紙にコピーしたものを提出してください。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

実践真宗学研究科 修士課程

◆出願資格

実践真宗学研究科修士課程 自己推薦入試

次の1から5のいずれかに該当する者で、本研究科への入学を専願（※）する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

※専願：合格後は必ず入学することが前提となり、入学を辞退することはできません。本入試の趣旨をよく理解の上、出願してください。

実践真宗学研究科修士課程 一般入試

次の1から5のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

実践真宗学研究科修士課程 社会人入試

次の1から5のいずれかに該当するとともに、本大学院研究科入学時まで3年以上の職歴（家事従事者等を含む）を有する者で、2027年4月1日現在25歳以上の者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

実践真宗学研究科修士課程 自己推薦入試

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
※以下に該当する者は提出不要
・本学文学部卒業者および卒業見込みの者
・本学文学研究科修了者および修了見込みの者
2. 学部の卒業（見込）証明書
3. 学部の成績証明書
4. 自己推薦書（本学所定用紙）

【自己推薦書について】

実践真宗学を志す者として、これまでの学生生活および社会人の経験の中で、自己をアピールできる経歴等を積極的に自由に記述してください。実践真宗学研究科は、強い意志と熱意を持った方を歓迎します。

次のような事項について具体的に書いてください。

- 実践真宗学研究科を志望する理由・動機
- 実践真宗学研究科にかかわる専門職（住職・坊守など）の実務経験
- 宗教実践、社会実践についての経験・抱負等
- 何らかの資格を有しているのであれば、その資格（自動車免許は除く）
- 修士、博士、Ph.Dなどの学位
- TOEFL[®]やTOEIC[®]の成績、実用英語技能検定（英検）の合格証など外国語（英語以外の言語を含む）の能力
- ※英検1day S-CBT、英検CBT[®]、英検2day S-Interviewを含みます。英検IBA[®]は含みません。
- 外国留学経験
- 大学等での学業成績、サークル活動等における実績
- 社会活動（NPO・NGO活動やボランティア活動など）における経験
- 企業や官公庁等に勤務した年数、役職経験、担当業務に関して力を注いだ事項や成果内容、社内外の受賞実績
- その他、自己アピールに値すると思われる事項
（出身大学の推薦書、演習担当教員、職場の上司の推薦書などがあれば添付してください）
- ※実績・資格などを証明する書類（可能な限り公式のもの）を添付してください（コピー可）。
- ※所定の用紙に記載事項を必ず収めてください。

実践真宗学研究科修士課程 一般入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
※出願先専攻選択理由を含む
2. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
※以下に該当する者は提出不要
・本学文学部卒業者および卒業見込みの者
・本学文学研究科修了者および修了見込みの者
3. 学部の卒業（見込）証明書
4. 学部の成績証明書

実践真宗学研究科修士課程 社会人入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
※出願先専攻選択理由を含む
2. 自己申告書（本学所定用紙）
3. 推薦書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
4. 研究計画書（本学所定用紙・様式1）
5. 学部の卒業（見込）証明書
6. 学部の成績証明書
7. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※外国人留学生在本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

政策学研究科 修士課程

◆出願資格

政策学研究科修士課程 一般入試
次の1から6のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者 4. 文部科学大臣の指定した者 5. 短期大学、高等専門学校、専修学校もしくは各種学校の卒業者または外国大学日本分校等の修了者などで、22歳に達し、本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 6. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
政策学研究科修士課程 社会人入試
次の1から4のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者で1年以上の就業経験がある者、または、本大学院研究科において、これと同等の社会的経験があると認められた者 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、1年以上職業に従事している者または1年以上の就業経験がある者 3. 短期大学、高等専門学校、専修学校もしくは各種学校の卒業者または外国大学日本分校等の修了者などで、原則として卒業後3年以上の就業経験、またはこれと同等の社会的経験がある者で、本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で1年以上の就業経験、またはこれと同等の社会的経験がある者 ※上記の就業経験には、原則として学部在籍中の就業経験は含まれません。 ただし、主として夜間に授業を行うコースに在籍中の就業経験は含まれます。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

政策学研究科修士課程 一般入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 研究計画書（本学所定用紙・様式1）
3. 卒業（見込）証明書または修士課程・博士後期課程の修了（見込）証明書
4. 上記に関わる成績証明書

政策学研究科修士課程 社会人入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 自己申告書（本学所定用紙）
3. 研究計画書（本学所定用紙・様式1）
4. 研究論文（研究論文を提出する場合）
提出する論文は研究論文あるいは、それに相当するもの（例えば、雑誌論文、新聞投稿論文）とします。また、提出論文は単著あるいは第一著者であることとします。
5. 卒業（見込）証明書または修士課程・博士後期課程の修了（見込）証明書
6. 上記に関わる成績証明書
7. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴じまたはファイルにしたものを提出してください。

※外国人留学生在が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

政策学研究科 博士後期課程

◆出願資格

政策学研究科博士後期課程 一般入試

次の1から4のいずれかに該当する者

1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者
2. 外国において修士の学位に相当する学位を得た者、および2027年3月までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者
3. 修士（専門職）または法務博士（専門職）の学位を得た者、および2027年3月までに修士（専門職）または法務博士（専門職）の学位を得る見込みの者
4. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者

政策学研究科博士後期課程 社会人入試

次の1から4のいずれかに該当する者

1. 本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位を得た者および2027年3月までに本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位を得る見込みの者で、学士取得後3年以上の就業経験がある者
2. 外国において、本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位に相当する学位を得た者および2027年3月までに本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位に相当する学位を得る見込みの者で、学士取得後3年以上の就業経験がある者
3. 本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位を得た者および2027年3月までに本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位を得る見込みの者で、官公庁、企業、NPO、各種の研究機関、教育機関などに在職し、3年以上の就業経験がある者
4. 本大学院研究科において、個別の入学資格審査により、上記1～3と同等以上の学力があると認められた者

※博士後期課程（一般入試・社会人入試）に出願される方は、必ず出願締切日の1ヵ月前迄に政策学部教務課にお問い合わせください。

政策学部教務課 TEL：075-645-2285

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

政策学研究科博士後期課程 一般入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 学部の卒業証明書と修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の修了（見込）証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
3. 学部の成績証明書と修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の成績証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
4. 研究計画書（様式は任意）
5. 論文（コピー）
修士論文もしくはそれに相当する論文、および同論文の要旨（様式は任意、日本語2,000字程度）各2部を提出すること。

■出願資格が1、2、3の者

1. 志望理由書（本学所定用紙）
 2. 学部の卒業証明書と修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の修了（見込）証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
 3. 学部の成績証明書と修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の成績証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
 4. 自己申告書（本学所定用紙）
 5. 研究計画書（様式は任意）
 6. 論文（コピー）
修士論文もしくはそれに相当する論文、および同論文の要旨（様式は任意、日本語2,000字程度）
- なお、出願資格3に該当する者は、現職社会人の経歴を明示できる証明書を必ず添付すること。

■出願資格が4の者

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 最終学校の卒業証明書と成績証明書
3. 自己申告書（本学所定用紙）
4. 研究計画書（様式は任意）
5. 論文（コピー）
志望する専攻分野に関連する研究論文（公刊された著書、学術論文、学術報告書など）、および同論文の要旨（様式は任意、日本語2,000字程度）

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生在本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

農学研究科 修士課程

◆出願資格

農学研究科修士課程 一般入試

次の1から5のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに農学部教務課（TEL：077-599-5601）にお問い合わせください。

※出願資格5. については出願資格審査を必要とします。出願資格審査に必要な関係書類については余裕をもって、必ず事前に農学部教務課にお問い合わせください。

農学研究科修士課程 社会人入試

次の1から5のいずれかに該当するとともに、本大学院研究科入学時までには3年以上の職歴（家事従事者等を含む）を有する者で、2027年4月1日現在25歳以上の者

1. 大学を卒業した者または2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに農学部教務課にお問い合わせください。

※出願資格5. については出願資格審査を必要とします。出願資格審査に必要な関係書類については余裕をもって、必ず事前に農学部教務課にお問い合わせください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

農学研究科修士課程 一般入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
※指導希望教員に事前にコンタクトをとること。
2. 学部の卒業（見込）証明書
3. 学部の学業成績証明書

農学研究科修士課程 社会人入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
※指導希望教員に事前にコンタクトをとること。
2. 自己申告書（本学所定用紙）
3. 学部の卒業（見込）証明書
4. 学部の学業成績証明書
5. 提出可能なものがある場合は、過去の研究業績の現物

※外国人留学生在本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

農学研究科 博士後期課程

◆出願資格

農学研究科博士後期課程

次の1または2のどちらかに該当する者

1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者
2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに農学部教務課（TEL：077-599-5601）にお問い合わせください。

※出願資格2. については出願資格審査を必要とします。出願資格審査に必要な関係書類については余裕をもって、必ず事前に農学部教務課にお問い合わせください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

農学研究科博士後期課程

1. 推薦書（本学所定用紙）
※指導教員、上長もしくはそれらに類する人物が作成し、厳封したものを提出してください。
2. 志望理由書（本学所定用紙）
※指導希望教員に事前にコンタクトをとること。
3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
5. 研究計画書（本学所定用紙・様式1）800字以内（欧文の場合300words以内）
※指導希望教員に事前にコンタクトをとること。
6. 提出可能なものがある場合は、過去の研究業績の現物

※修士論文（コピー）・研究論文等の提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

心理学研究科 修士課程

◆出願資格

心理学研究科修士課程 一般入試

次の1から5のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

心理学研究科修士課程 社会人入試

次の1から5のいずれかに該当するとともに、本大学院研究科入学時まで3年以上の職歴（家事従事者等を含む）を有する者で、2027年4月1日現在25歳以上の者

1. 大学を卒業した者または2027年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月までに修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

心理学研究科修士課程 一般入試

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
※本学文学部・心理学部の卒業生および卒業見込みの者は提出不要
2. 志望理由書（本学所定用紙）
3. 学部の卒業（見込）証明書
4. 学部の成績証明書
5. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

心理学研究科修士課程 社会人入試

1. 志望理由書（本学所定用紙）
2. 自己申告書（本学所定用紙）
3. 研究計画書（本学所定用紙）
4. 学部の卒業（見込）証明書
5. 学部の成績証明書
6. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3. に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4. に定める書類が別途必要となります。

心理学研究科 博士後期課程

◆出願資格

心理学研究科博士後期課程

次の1または2のどちらかに該当する者

1. 修士の学位を得た者および2027年3月までに修士の学位を得る見込みの者
2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者

※外国人留学生で出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前までに文学部・心理学部教務課にお問い合わせください。

◆出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。

心理学研究科博士後期課程

1. 調査書（本学所定用紙）
厳封したものを提出してください。
調査書の「学長または学部長または研究科長」欄には、学長、学部長または研究科長等の職位名と氏名の記載、および公印の押印（個人印は不可）が必要です。
※本学文学研究科修士課程の修了者および修了見込みの者は提出不要
2. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の卒業証明書は提出不要です。
3. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書
※修士課程修了（見込）者は、学部の成績証明書は提出不要です。
4. 修士論文要旨**3,200字以内（欧文の場合800 words以内）**
5. 今後の研究計画書（本学所定用紙・様式1）**1,200字以内（欧文の場合400 words以内）**
※本学文学研究科修士課程修了者も提出してください。
※心理専門職に係る資格等を所持している場合には、研究計画書の末尾に資格名を記載してください。
6. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

※修士論文要旨の提出については、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

※外国人留学生が本要項により出願する場合は各研究科が定める出願書類の他に、25ページに定める出願書類の提出が必要です。

※出願書類で提出を求めているもののうち、日本語または英語以外で書かれている書類がある場合は25ページ3.に定める翻訳を添付してください。

※中国の大学または大学院を卒業（修了）した者（卒業・修了見込みを含む）は、25ページ4.に定める書類が別途必要となります。

共 通 事 項

Web出願

UCAROに新規会員登録の上、Web出願を行ってください。
Web出願については、本学Webサイト「UCAROマニュアル」の「UCARO 新規会員登録」「Web出願」に記載されている説明事項を必ずご確認ください。
※避難民・難民として出願する場合、Web出願は必要ありません。ただし、UCAROの会員登録は行ってください。受験票の印刷、合格発表、入学手続はUCAROで行います。

受験料・納入方法

受験料 35,000円

※避難民・難民として出願する場合、受験料は免除いたします。納入は不要です。

出願期間内に必ず以下の方法で納入してください。納入された受験料は返還いたしません。

①UCAROから納入

本学Webサイト「UCAROマニュアル」の「Web出願」「受験料の納入」に記載されている説明事項を必ずご確認ください。

- ・クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）対応の銀行ATMまたはインターネットバンキングでの納入が可能です。**（ただし、国外居住者はクレジットカード決済に限る）**。なお、受験料の他に払込手数料が必要になります。
- ・支払期限はWeb出願を行った翌日23時59分00秒（日本時間）までとなります。ただし、出願期間最終日に支払った場合は、当日中の23時59分00秒（日本時間）までとなります。

②オンライン決済サービス（Flywire）から納入する方法【国外居住者に限る】

以下のURLまたは二次元コードより、「Flywire」の支払いページにアクセスしてください。

【Flywire支払いページ（受験料・入学時納入金専用）】

<https://ryukoku-adm.flywire.com>



画面の説明に従って、支払に必要な情報を入力し、手続を完了してください。

支払金額は、かならず上記受験料の金額（正規留学生：35,000円）を正確に入力してください。

Flywireでの支払いの場合も手数料が必要です。支払いの際、発生する手数料は支払い者に負担いただきます。支払い方法により手数料が異なります。

また、学生情報の入力ページに、UCARO出願番号を必ず入力してください。

【注意事項】

- ・次のように記載されている支払方法は選択しないでください。本学から請求書の発行はございません。
「A Payment notice/bill/invoice from institution is required」
- ・**Flywireからの支払いは、UCAROでの出願登録後におこなってください。**
- ・必ず出願期間最終日までに支払手続を完了してください。出願期間内に支払手続を完了されたことが確認できない場合は、出願を認めません。
- ・金額の入力誤りには十分注意してください。支払金額が不足している場合は、出願を認めません。
- ・Flywireでの認証が完了せず支払手続が完了しなかった場合など、支払金額を本学にて受け取りできなかった場合は、出願を認めません。
- ・上記のURLおよび二次元コードは、本入学試験の出願および入学手続のための専用ページです。入学後の学費等の支払いには使用できません。

出願書類のダウンロードについて

出願書類のうち、本学所定用紙については、本学Webサイトよりダウンロードし、必要事項を記入してください（出願書類についてはワープロ入力可）。

〈URL〉 <https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/daigakuin/>



出願書類送付先

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。
出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

【日本国内から出願する場合】

〒604-8799 中京郵便局留「龍谷大学入学願書受付センター」宛
「宛名ラベル」（UCAROよりダウンロード）を貼った市販の封筒（出願書類を折らずに封入できるサイズ）にて、簡易書留・速達で郵送してください。

【日本国外から出願する場合】

〈宛先〉 Ryukoku University Admissions Department（龍谷大学 入試部）Tel 075-645-7887
〈住所〉 67 Tsukamoto-cho, Fukakusa, Fushimi-ku, Kyoto 612-8577, Japan
DHL等の追跡可能な国際宅配便を利用し送付してください。利用する国際宅配便の大幅な遅延が予想される場合は、事前に入試部（TEL：+81-75-645-7887）に連絡してください。出願書類は封筒に封入し、その封筒を国際宅配便の封筒に封入し、上記の住所に送付してください。出願期間最終日の必着です。日本国外から書類を送付する場合は、到着までに数日かかりますので、できるだけ早く送付してください。また、出願書類の大幅な遅延が発生した場合は、出願書類のスクランデータの提出を求めることがあります。発送前にすべての出願書類のコピーまたはスクランデータを取っておいてください。

【避難民・難民として出願する場合】

「教育パスウェイズ」または「UNHCR難民高等教育プログラム（RHEP）」を通じて龍谷大学入学願書受付センターに提出いただきます。

受験票の印刷

受験票は、試験日の1週間前を目途にUCAROにて発行可能となる予定です。試験日の前日までに確認・印刷の上、印刷した受験票を試験当日ご持参ください。

受験票の印刷については、本学Webサイト「UCAROマニュアル」の「受験番号照会・受験票の印刷」に記載されている説明事項を必ずご確認ください。

感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していないために本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる受験料を返還いたしますので、本学HP（<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/syutsugan/henkan2.html>）を確認し、各自手続きを行ってください。

なお、本学試験を課さない入試型・方式は、受験料返還の対象となりません。

合格発表

合格発表は、合格発表日にUCARO上で通知いたします。（12：00予定）

合格発表については、本学Webサイト「UCAROマニュアル」の「合否照会」に記載されている説明事項を必ずご確認ください。

入学手続

合格者には、UCAROで入学手続方法を通知します。
所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。
※入学時納入金の具体的な納入方法については、合格通知とともに通知します。
※避難民・難民として出願する場合、入学時納入金は免除いたします。納入は不要です。

〈9月入学学科試験方式、4月入学修士課程秋期試験・博士後期課程秋期試験〉

1. 入学手続Ⅰの期間内（9～12ページ参照）に、入学申込金100,000円（修士課程社会人入試の場合：50,000円）を納入してください。
2. 入学手続Ⅱの期間内（9～12ページ参照）に、前期授業料等の入学時納入金から入学申込金を差し引いた金額を納入してください。
ただし、修士課程社会人入試で合格された本学修士課程出身者は、入学手続Ⅱの期間での納入は不要となります。

〈9月入学書類審査方式、4月入学修士課程春期試験・博士後期課程春期試験〉

1. 入学手続期間（9～12ページ参照）に、前期授業料等の入学時納入金を一括納入してください。
ただし、修士課程社会人入試で合格された本学修士課程出身者は、入学申込金50,000円を一括納入してください。

※入学時納入金の内、入学申込金は100,000円（修士課程の社会人入試の場合：50,000円）となります。

【入学時納入金の納入について】

入学時納入金の支払い方法については、振込依頼書で銀行窓口から支払う方法と、以下の方法が選択できます。

なお、詳細につきましては、入学ハンドブックをご確認ください。

①クレジットカード等による決済

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）対応の銀行ATMまたはインターネットバンキングでの納入が可能（国外居住者はクレジットカード決済のみ）です。なお、支払額に応じて払込手数料が必要です。

②日本国外から送金（国外居住者のみ）

詳細については、77ページを参照してください。

注1. 手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めません。入学を辞退されたものとみなします。このことについて本学は厳正に対応しますので、十分注意してください。

2. 学費・諸会費については、82ページを参照してください。
3. 入学手続の詳細については、合格通知の際、通知します。
4. いったん納入された金額の内、入学金相当額は返還しません。その他の入学時納入金の返還については、「授業料等返還制度」を参照してください。

自然災害等による災害救助法適用地域居住の被災者を対象とした特別措置

龍谷大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学のための確保を図るために、災害救助法適用地域居住の被災者を対象とした特別措置を設けています。特別措置の適用を希望される受験生は、出願等の手続をする前に入試部へ必ずご連絡ください（特別措置の詳細については、龍谷大学Webサイトをご参照ください）。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、以下期間内に手続をしてください。手続方法は「入学ハンドブック」でご確認ください。「入学ハンドブック」はUCAROと入学手続ガイドンスペースで確認できます。

〈2026年9月入学〉

2026年9月16日(水) 14時59分00秒まで

〈2027年4月入学〉

2027年3月31日(水) 14時59分00秒まで

注意事項

1. 試験中はすべて監督者の指示に従ってください。指示に従わないときは不正行為とみなし、全科目を無効とします。
2. 虚偽、不正な記載または出願資格に反する事実が明らかになった場合は、入学を取り消します。
3. 龍谷大学入学試験では、障がい等のある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。
4. 書類審査方式は入学前に出願者の学力を十分に審査できるものではないので、入学後に大学院生としての学力不足が明らかになった場合は「退学勧告」をすることもあります。出願者はこのことを熟慮の上、出願してください。(国際学研究科のみ)
5. 社会情勢の急変等により、入試日程、試験内容等を変更する場合があります。変更がある場合は入試情報サイト等で随時お知らせします。
6. 入国制限等により受験できない場合があります。なお、その場合は受験料から返還にかかる手数料1,000円を差し引いた額を返還します(書類審査方式は除く)。
7. 万が一受験料を返還する場合は、返還に係る手数料1,000円を差し引いた金額を返還させていただきます。
8. 研究科、試験種別により出願書類およびその様式が異なります。出願する研究科、試験種別所定の書類を提出してください。
9. 出願資格によっては、所定の出願書類の他に適宜必要書類の提出を求めることがあります。
10. いったん提出された出願書類は、返却しません。ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として、試験日(書類審査方式は合格発表日)以降に返却します。
11. 各種証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、それを証明する公的書類(戸籍抄本・住民票等)を提出してください。
12. 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。
13. 各試験室において、**試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。**試験時間中の途中退出は認めません(体調不良の場合は監督者に申し出てください)。終了後の退室についても監督者の指示に従ってください。
14. 出願書類への記入は出願者本人が黒色のボールペンではっきりと記入してください(消せるボールペン・修正テープ不可)。修正する場合は、二重線を引いて訂正してください。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<https://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

不正行為

(1)次に例示したことは不正行為になります。

- ・ 出願書類の偽造・虚偽記載をすること。
- ・ 解答用紙に故意に虚偽の記載等（解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
- ・ カンニング行為（カンニングペーパー、教科書、参考書、他の受験生の答案を見る、携帯電話、スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末、電子辞書、翻訳機、ICレコーダー等の電子機器類を使用する、他の人から答えを教わる等）をすること（電子機器類の電源を切っただけでは必ずしも不正行為とはなりません、身につけていたり手に持っていたりしていた場合も不正行為となることがあります）。
- ・ 志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ・ 試験中に、答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をすること。
- ・ 指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めた、または解答をやめなかった。
- ・ 試験中の使用を認められていない用具を使用した。
- ・ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に、試験教室から持ち出した。
- ・ 試験時間中に問題の内容を他者に伝えた。
- ・ 解答用紙を試験教室から持ち出した（持ち帰る）。
- ・ 試験時間中または休憩時間にかかわらず、他の受験生の妨害や迷惑行為を行った。
- ・ 監督者等の指示に従わない。
- ・ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をした。

(2)不正行為が疑われる際に、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したとみなす場合があります。

- ・ 監督者等が注意をする、または事情を聴くこと。
- ・ 席の移動または別室での受験をもとめること。

(3)不正行為と認められた場合の本学の対応は以下のとおりとします。

- ① その場で受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなります。
- ② 当日の入学試験の成績を含め、本年度受験した本学入学試験すべての成績を無効とします。
- ③ 当該年度に行われる本学の全ての入学試験の受験を認めません。
※上記①～③いずれの場合も受験料は返還しません。
- ④ 必要に応じて警察に被害届を提出する場合があります。

学費等

修士課程社会人入試入学者は、一般入試入学者と同じ授業料で定額の「通常学費」、もしくは登録した単位数に応じて授業料が決定する「単位制学費」のどちらか一方を入学時に選択し、在学中は選択した学費が適用されます。いずれも、入学時納入金は、単位制学費における入学金および在籍料相当額・諸会費とします。「通常学費」を選択した場合は、6月中旬までに差額を納入することになります。「単位制学費」を選択した場合は、登録単位数に応じた登録料を登録手続き後納入していただくこととなります。登録料（前期分）の納入期限は6月中旬です。

また「単位制学費」を選択した本学研究科の課程出身者は、入学申込金と入学時納入金との差額を前期登録料の一部に充当します。詳細については、入学手続き時に入学ハンドブックにてお知らせします。

なお、社会人入試入学者に限らず「長期履修制度」（85～86ページ参照）を希望する場合は「通常学費」を分割納入することとなります。

「長期履修制度」が適用され、入学時納入金が第1学期の学費より多くなる場合は、その差額を次学期以降の学費に充当します。

◆ 2026年9月入学

2026年度学費等については、大学ホームページ上でご確認ください。
龍谷大学ホームページ>学生生活・就職支援>学費・奨学金>学費等一覧



<URL>

https://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/expense/school.html

◆ 2027年4月入学

2027年度入学者の学費および諸会費の予定額は龍谷大学入試情報サイトに掲載しています。予定額はこちらから確認してください。



<URL>

https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/pdf/2027_gakuhi.pdf

2027年度学費は2026年9月に決定しますので、決定後の学費については、ホームページ上でご確認ください。

龍谷大学ホームページ>学生生活・就職支援>学費・奨学金>学費等一覧

注 入学後の学費の納入は金融機関口座からの振替（自動引落）となります。入学手続きの際に口座のご登録をお願いしています。

注 避難民・難民として出願した場合、「自国の政変等の影響を受ける外国人留学生に対する特別援助奨学金規程」を適用し、学費を免除します。入学手続きと合わせて、所定の申請書類を提出してください。合格通知後にご案内します。

◆大学院生を対象とする奨学金

龍谷大学では、学業成績や人物が特に優れた大学院生が、経済的な支援により安心して教育・研究活動に専念出来るよう様々な奨学金制度を設けています。※詳しくは各学部教務課へお問い合わせください。

■大学院学内進学奨励給付奨学金（予約採用型）【給付奨学金】

内 容：本学学部から本学大学院修士課程、本学大学院修士課程から本学大学院博士後期課程へ進学する者を奨励し、経済的に援助する奨学金です。

給付対象：学業成績および人物が優秀と認められる者。

給付金額：150,000円（年額）

採用人数：55名 ＊2025年度実績

選考方法：各研究科が設定する申請期限内に申請し、選考対象入学試験を受ける者の中から選考。入学前に予約採用者（入学後、採用となる者）として決定します。対象となる入学試験等、詳細については当該学部教務課へお問い合わせください。

■大学院研究活動支援給付奨学金【給付奨学金】

内 容：研究活動を積極的に行う者の研究を奨励するための奨学金です。

給付金額：各研究科で設定

審査方法：各研究科で設定

採用人数：136名 ＊2025年度実績

■大学院成績優秀者給付奨学金【給付奨学金】

内 容：修士課程2年次（実践真宗学研究科生は2年次又は3年次）又は博士後期課程2年次または3年次に在学する成績及び人物が優秀な者への奨学金です。

給付金額：各研究科で設定

審査方法：各研究科で設定

採用人数：71名 ＊2025年度実績

※心理学研究科は、2026年度から対象

■先端理工学研究科博士後期課程特別給付奨学金【給付奨学金】

内 容：先端理工学研究科博士後期課程に在籍する学生の学修・研究に専念出来る環境を整えるための奨学金です。

給付対象：入学試験における成績優秀者

給付金額：290,000円（年額）／採用人数：8名 ＊2025年度実績

給付期間：3年間、ただし2年目以降の給付については毎年度学業成績審査があります。

選考方法：先端理工学研究科が設定する選考対象入試の合格の中から選考

※選考された対象者には予約採用候補者として入学前に通知します。

■外国人（留学生）特別奨学金【給付奨学金】

学業成績および人物が特に優秀な外国人留学生の学習奨励を目的としています。

(1)給付対象および奨学金額

所 属	学 年	奨学金額		採用予定人数
大学院	全学年	年額	授業料相当額	各研究科長から推薦された入学予定者（若干名）
学部	学部：2～4年生	年額	400,000円	各学部長から推薦された者（若干名）
		年額	200,000円	

※大学院は入学時に予約採用型で採用します。原則として標準修業年限を給付期間とします。

(2)注意事項

①本学の学部または大学院における正規課程に在学している者が対象です。

②国費外国人留学生は対象外です。

■親和会海外研修奨学金【給付奨学金】

内 容：国際人の育成を目的とし、日常のテーマを海外において実証・研究しようとする学生を支援する奨学金です。

給付金額：自己研鑽コース 100,000円以内／採用人数 3名（学部学生含）＊2025年度実績
研究コース 300,000円以内／採用人数 2名（学部学生含）＊2025年度実績

審査方法：書類・面接審査

■特に優れた業績による返還免除制度

国が行う日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた大学院生で、在学中に特に優れた業績を挙げたと認められる者に対し、返還の全部または一部を免除する制度があります。2024年度は下記の学生が、貸与奨学金の全部または一部の返還が免除となりました。

対 象	★2024年度返還免除者
修士課程	12名
博士後期課程	3名

■授業料後払い制度

2024年度から国の新たな制度として、修士課程に「授業料後払い制度」が創設されました。授業料の後払い（年間776,000円上限）と月々の生活費奨学金（上限4万円の無利子貸与）の2つの支援がセットになった貸与奨学金制度（第一種奨学金）です。在学中は、日本学生支援機構が大学に授業料を支払い、大学院修了後に学生から日本学生支援機構に返済します。

詳細は別途、大学HPでご案内いたします。

※上記、奨学金の他にも大学院生を支援する奨学金があります。

◆長期履修制度について

職業を有している等の事情により、通常の修了に係る年限では履修が困難な学生を対象に、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することが出来る「長期履修制度」を設けています。

詳細については本学HP (<https://www.ryukoku.ac.jp/faculty/graduate/chokirishu/>) をご確認ください。



長期履修制度の概要

対象となる研究科
本学全研究科の修士課程及び博士後期課程が対象です。
対象者
長期履修学生となることを希望できるのは、標準修業年限での修了が困難な次のいずれかに該当する場合です。 (1) 職業を有している者 (2) 家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者 (3) その他当該研究科が相当な事情があると認めた者 ※ただし、上記(1)～(3)にかかわらず、以下の者は対象としません。 <ul style="list-style-type: none">・外国人留学生・法学研究科修士課程及び政策学研究科修士課程に、地域人材育成に係る相互協力に関する協定により1年制で入学する者・社会学研究科修士課程に社会学研究科と学外団体との連携協定により1年制で入学する者
長期履修期間
修士課程、博士後期課程のいずれも上限6年です。ただし、休学期間はこれに算入しません。
申請期間及び方法
長期履修制度を希望する場合は、次のいずれかの期間に申請する必要があります。 1. 入学前に申請する場合：入学手続期間 2. 入学後に申請する場合：長期履修開始年度の学年開始の1ヶ月前までの期間（修了年度の申請は不可）
審査方法
提出された申請書類等をもとに、所属（予定）の研究科で審査します。

学費等の納入方法

長期履修学生は通常学費（入学金以外の学費）を履修期間に応じて均等に分割納入することとなります。

例) 他大学出身で法学研究科修士課程に2027年4月に入学した場合

1. 3年間の長期履修を希望した場合 (単位：円)

学 費	1 年次	2 年次	3 年次	合 計
入 学 金	200,000	—	—	200,000
授 業 料	442,000	442,000	442,000	1,326,000
実験実習料	—	—	—	—
合 計	642,000	442,000	442,000	1,526,000

2. 4年間の長期履修を希望した場合 (単位：円)

学 費	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合 計
入 学 金	200,000	—	—	—	200,000
授 業 料	333,000	331,000	331,000	331,000	1,326,000
実験実習料	—	—	—	—	—
合 計	533,000	331,000	331,000	331,000	1,526,000

3. 5年間の長期履修を希望した場合 (単位：円)

学 費	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	合 計
入 学 金	200,000	—	—	—	—	200,000
授 業 料	266,000	265,000	265,000	265,000	265,000	1,326,000
実験実習料	—	—	—	—	—	—
合 計	466,000	265,000	265,000	265,000	265,000	1,526,000

※上記学費とは別に諸会費が必要となります。諸会費については分割納入にはなりません。

※研究科により学費は異なります。

★入学時納入金が第1学期の学費より多くなる場合は、その差額を次学期以降の学費に充当します。

〈長期履修制度に関する問い合わせ先〉

P87〈各研究科へのお問い合わせ〉をご確認ください。

お問い合わせ先一覧

〈各研究科へのお問い合わせ〉

※月・水曜日～金曜日 9:00～11:45 12:45～17:00
火曜日 10:45～11:45 12:45～17:00


研究科	電話番号	メールアドレス	所在地
文学研究科	075-343-3317	let@ad.ryukoku.ac.jp	大宮キャンパス ^{※1} 〒600-8268 京都市下京区七条通 大宮東入大工町125-1
実践真宗学研究科			
心理学研究科		sinri@ad.ryukoku.ac.jp	
経済学研究科	075-645-7894	keizai@ad.ryukoku.ac.jp	深草キャンパス ^{※2} 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
経営学研究科	075-645-7895	biz@ad.ryukoku.ac.jp	
法学研究科	075-645-7896	hogaku@ad.ryukoku.ac.jp	
政策学研究科	075-645-2285	seisaku@ad.ryukoku.ac.jp	
国際学研究科	075-645-5645	world@ad.ryukoku.ac.jp	
社会学研究科	075-585-7672	shakai@ad.ryukoku.ac.jp	
先端理工学研究科	077-543-7730	rikou@ad.ryukoku.ac.jp	
農学研究科	077-599-5601	agr@ad.ryukoku.ac.jp	

※1 2027年4月、「京都大宮キャンパス」に名称変更予定。

※2 2027年4月、「京都深草キャンパス」に名称変更予定。

※3 2027年4月、「びわ湖大津キャンパス」に名称変更予定。

〈在留資格（在留資格認定証明書の代理申請含む）〉

研究科	問い合わせ先
文学研究科	Campus HUB（深草） TEL：075-645-7893 問い合わせフォーム： 
心理学研究科	
実践真宗学研究科	
経済学研究科	
経営学研究科	
法学研究科	
政策学研究科	
社会学研究科	
国際学研究科	
先端理工学研究科	先端理工学部教務課 TEL：077-543-7730
農学研究科	農学部教務課 TEL：077-599-5601

在留資格認定証明書の代理申請

現在、国外在住の出願者で、経費支弁者や親族などの代理人が日本国内にいない場合、経費の自己負担が可能であり、所定の証明書にてそのことを証明できる留学生に限り、大学が1回のみ代理申請します（詳細は別冊「入国・在留資格に関する手続」を参照してください）。

※別冊「入国・在留資格に関する手続」および各種証明書の所定フォーマットは、本学Webサイトの出願書類一覧からダウンロードしてください。

〈URL〉 <https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/foreign/>

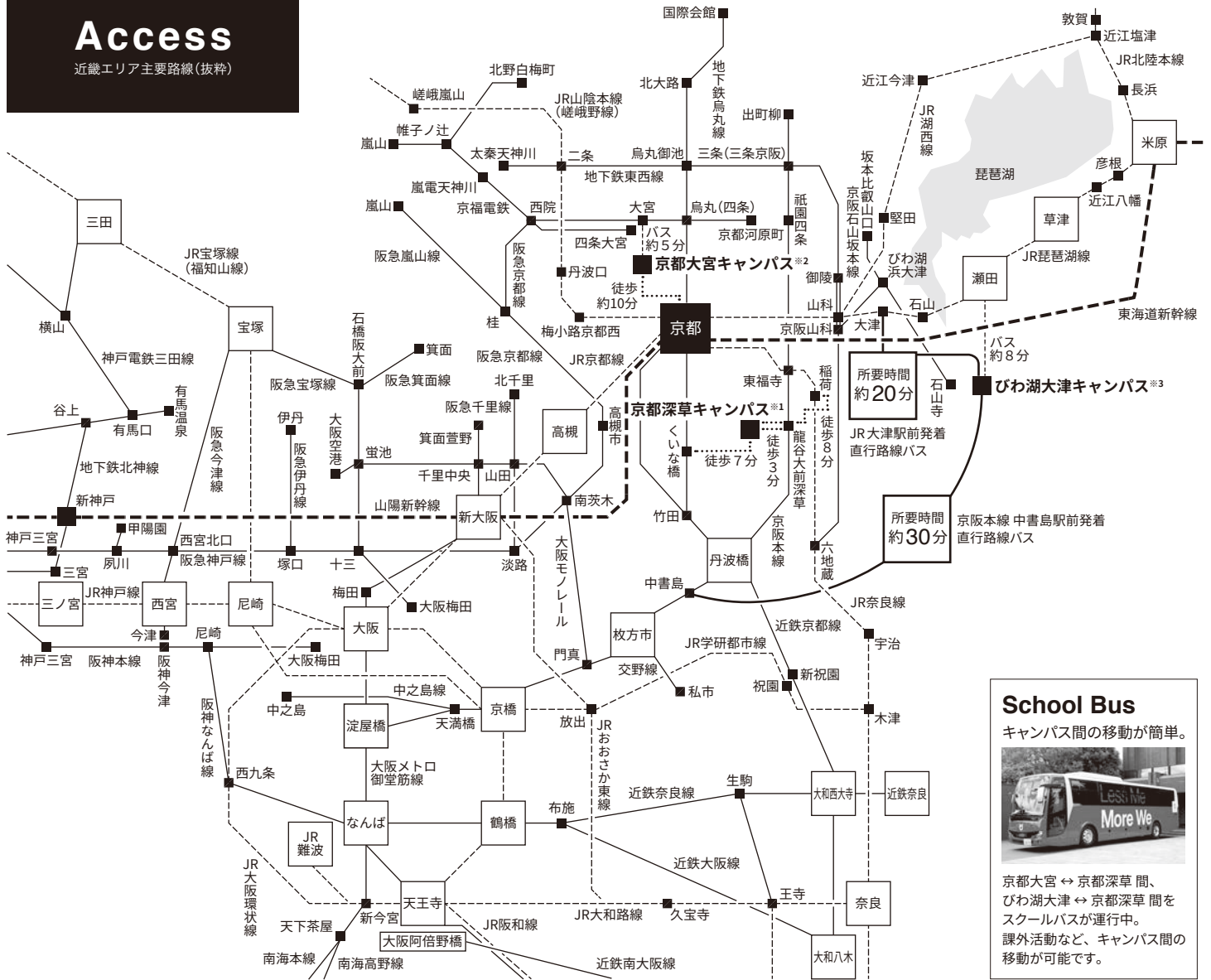
国籍コード一覧

Web出願時の「国籍コード」欄に該当するコードを入力してください。

JPN	日本	KHM	カンボジア王国
ARG	アルゼンチン共和国	PRK	朝鮮民主主義人民共和国
AUS	オーストラリア	KOR	大韓民国
BGD	バングラデシュ人民共和国	KWT	クウェート
BEL	ベルギー王国	LKA	スリランカ民主社会主義共和国
BRA	ブラジル連邦共和国	MLI	マリ共和国
BLR	ベラルーシ共和国	MMR	ミャンマー連邦
CAN	カナダ	MNG	モンゴル国
CHL	チリ共和国	MEX	メキシコ合衆国
CHN	中華人民共和国	MYS	マレーシア
DEU	ドイツ連邦共和国	NLD	オランダ王国
DNK	デンマーク王国	NPL	ネパール
DZA	アルジェリア民主人民共和国	NZL	ニュージーランド
ESP	スペイン	PHL	フィリピン共和国
FIN	フィンランド共和国	POL	ポーランド共和国
FJI	フィジー共和国	PRT	ポルトガル共和国
FRA	フランス共和国	RUS	ロシア連邦
GBR	英国	SGP	シンガポール共和国
GRC	ギリシャ共和国	THA	タイ王国
GIN	ギニア共和国	TUR	トルコ共和国
HUN	ハンガリー共和国	TWN	台湾
IDN	インドネシア共和国	UKR	ウクライナ
IRL	アイルランド	USA	アメリカ合衆国
IND	インド	VNM	ベトナム社会主義共和国
IRN	イラン・イスラム共和国	ZZZ	その他
ITA	イタリア共和国		

Access

近畿エリア主要路線(抜粋)



School Bus

キャンパス間の移動が簡単。

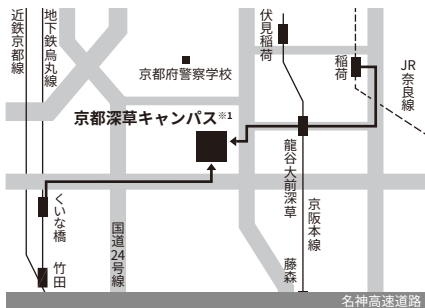


京都大宮 ↔ 京都深草 間、
びわ湖大津 ↔ 京都深草 間を
スクールバスが運行中。
課外活動など、キャンパス間の
移動が可能です。

京都深草キャンパス^{※1} (京都市)

(設置学部・大学院)

文学部(1・2年生) 心理学部(1・2年生) 経済学部
経営学部 法学部 政策学部 国際学部 社会学部
法学研究科 経済学研究科 経営学研究科
政策学研究科 国際学研究科 社会学研究科



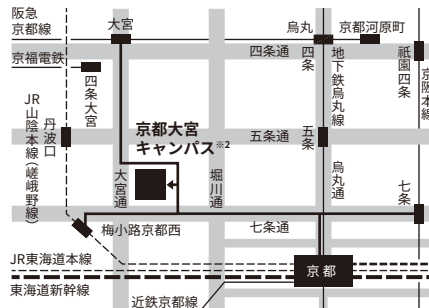
JR奈良線 稲荷駅下車、南西へ徒歩8分
京阪本線 龍谷大前深草駅下車、西へ徒歩3分
京都市営地下鉄烏丸線 くないな橋駅下車、東へ徒歩7分

- ※1 2027年4月、「深草キャンパス」より名称変更。
- ※2 2027年4月、「大宮キャンパス」より名称変更。
- ※3 2027年4月、「瀬田キャンパス」より名称変更。
- ※4 2027年4月、開設予定(設置構想中)。設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合がございます。
- ※5 2027年4月、先端理工学部より名称変更予定。

京都大宮キャンパス^{※2} (京都市)

(設置学部・大学院)

文学部(3・4年生) 心理学部(3・4年生)
文学研究科 実践真宗学研究科 心理学研究科

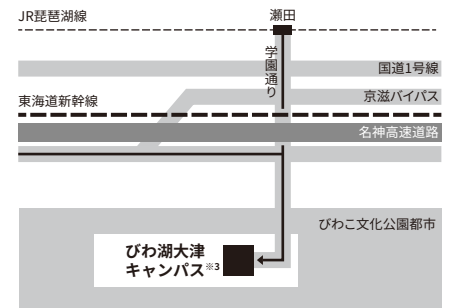


JR東海道本線・近鉄京都線 京駅下車、徒歩10分
JR山陰本線(嵯峨野線) 梅小路京都西駅下車、徒歩10分
阪急京都線 大宮駅より市バス乗車5分、「七条大宮」下車すぐ
京阪本線 七条駅下車、徒歩20分

びわ湖大津キャンパス^{※3} (滋賀県大津市)

(設置学部・大学院)

環境サステナビリティ学部(仮称)^{※4}
情報学部(仮称)^{※4}
理工学部^{※5} 農学部
先端理工学研究科 農学研究科



JR琵琶湖線 大津駅下車、近江バス20分(直行便)
京阪本線 中書島駅下車、京阪京都交通バス30分(直行便)
JR琵琶湖線 瀬田駅下車、帝産バス8分